

# 令和2年度 事業報告書

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会



# 令和2年度 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会 事業報告

本会では、長泉町地域福祉活動計画及び令和2年度の事業計画に基づき、「ささえあう みんなが笑顔になれるまち」の実現に向けて、行政、民生委員・児童委員協議会、区長連絡協議会、福祉施設、福祉団体並びに関係機関との連携を図りながら、町民の皆様と協働して社会福祉事業を推進した。

なお、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業ごとの内容は、次葉より報告する。

令和3年5月28日

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会

会 長 永 井 寛



# 令和2年度 事業報告書 目次

ページ

## I 社会福祉事業

### 1 法人本部拠点区分

1-1	法人運営事業	1
1-2	地域福祉活動事業	1 2
1-3	福祉総合相談事業	2 7
1-4	共同募金助成金事業	3 4
1-5	手話通訳者派遣事業	3 7
1-6	心身障害児放課後対策事業	3 9
1-7	小口資金貸付事業	4 1
1-8	生活支援体制整備事業	4 2
1-9	認知症初期集中支援チーム事業	4 6
1-10	権利擁護推進事業	4 8

### 2 老人福祉センター拠点区分

2-1	福祉会館事業	4 9
-----	--------	-----

### 3 介護サービス事業拠点区分

3-1	居宅介護支援事業	5 8
3-2	指定通所介護事業	6 1
3-3	指定認知症対応型通所介護事業	6 6
3-4	指定訪問介護事業	6 9
3-5	障害福祉サービス居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業	7 1
3-6	移動支援事業	7 2
3-7	地域活動支援センター事業	7 3

## II 公益事業

1	在宅福祉総合センター事業	7 5
2	在宅福祉総合センター食堂事業	8 1



# I 社会福祉事業

## 1 法人本部

### 1-1 法人運営事業

#### 1 会員の拡充と基本財源の確保

本会の支援基盤及び財政的基盤を強化し健全な運営を図るため、会員の募集を行った。

##### (1) 会員募集結果（令和3年3月31日現在）

令和2年度	会員数	会費収入
普通会員	12,280 口	3,684,200 円
特別会員	263 口	263,000 円
合 計	12,543 口	3,947,200 円
前年比	41 口	25,200 円

##### (2) 会員数の推移

年 度	平成31年度	平成30年度	平成29年度
普通会員	12,257	11,995	11,725
特別会員	245	264	229
合 計	12,502	12,259	11,954
会費収入	3,922,000 円	3,862,500 円	3,760,500 円

#### 【事業の成果と課題】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため区の活動も制限せざるを得ないなどの影響により社協会費の集金が出来ず、9月末において未納の区が生じた。

また、マンション一棟で班を構成しているところにおいて一口300円に満たない金額での納入がマンションの理事会で決議されている区もあった。

社協会員加入は任意である一方、地域福祉活動の推進のためには財源が必要であり、理解と協力を得るにはどのようにしたらいいかが課題となっている。

## 2 定款・規程等の整備

### (1) 規程等の整備

#### ① 嘱託等の就業規程の一部改正

働き方改革への取組の一つである同一労働同一賃金制度における嘱託等職員の処遇改善を目的に特別休暇等の充実を図るため、規程の一部を改正した。

(R3.3.17 第3回理事会決議)

- ② 育児・介護休業に関する規程の一部改正  
嘱託等の就業規程の一部改正に伴い整合を図るため、規程の一部を改正した。(R3.3.17 第3回理事会決議)
- ③ 就業規程の一部改正  
育児・介護休業に関する規程と整合を図るため、規程の一部を改正した。(R3.3.17 第3回理事会決議)
- ④ 長泉町在宅福祉総合センターいずみの郷デイサービスセンター運営規程の一部改正(指定通所介護事業)  
指定通所介護事業から指定地域密着型通所介護事業に変更することに伴い、規程の一部を改正した。(R3.3.17 第3回理事会決議)
- ⑤ 長泉町在宅福祉総合センターいずみの郷デイサービスセンター運営規程の一部改正(介護予防・日常生活支援総合事業)  
指定通所介護事業から指定地域密着型通所介護事業に変更することに伴い、介護予防・日常生活支援総合事業が一体的に行われるため、規程の一部を改正した。(R3.3.17 第3回理事会決議)
- ⑥ 経理規程の一部改正  
令和2年度末で心身障害児放課後対策事業の受託が終了となるため、当該サービス区分を削除した。(R3.3.17 第3回理事会決議)

### 3 理事会・評議員会の開催状況

#### (1) 理事会

第1回理事会 出席者10名/定数11名

ア 期 日 6月10日(水)

イ 議 題

i 報告事項

第1号議案 会長及び常務理事の職務執行状況の報告

第2号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員の選任報告

ii 決議事項

第3号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員候補者の選任

第4号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦

第5号議案 令和元年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業報告の認定

第6号議案 令和元年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計決算の認定・決算監査報告

第7号議案 令和2年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正予算(第1回)の認定

第8号議案 令和2年度定時評議員会の開催

第2回理事会 出席者9名/定数11名

ア 期 日 11月24日(火)

イ 議 題

i 報告事項

第9号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員の選任報告

第10号議案 行政機関による立入検査結果及び報告

第11号議案 会長及び常務理事の職務執行状況の報告

第12号議案 令和2年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会の  
中間事業報告並びに中間決算に伴う定期監事監査報告

ii 決議事項

第13号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員選任候補  
者の推薦

第14号議案 令和2年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計  
補正予算(第2回)の認定

第15号議案 令和2年度臨時評議員会(第1回)の開催

第3回理事会 出席者11名/定数11名

ア 期 日 3月17日(水)

イ 議 題

i 報告事項

第16号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員の選任  
報告

第17号議案 令和2年度財政援助団体等監査の結果及び報告

ii 決議事項

第18号議案 事務局長及び施設長等の選任

第19号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会嘱託等の就業  
規程の一部改正

第20号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会育児・介護休業に  
関する規程の一部改正

第21号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会就業規程の一部  
改正

第22号議案 長泉町在宅福祉総合センターいずみの郷デイサービス  
センター運営規程の一部改正(指定通所介護事業)

第23号議案 長泉町在宅福祉総合センターいずみの郷デイサービス  
センター運営規程の一部改正(介護予防・日常生活支援  
総合事業)

第24号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部  
改正

第25号議案 令和2年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計  
補正予算(第3回)の認定

第26号議案 令和3年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業

計画

- 第 27 号議案 令和 3 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計  
予算
- 第 28 号議案 令和 3 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計  
予算の執行及び契約の締結
- 第 29 号議案 令和 2 年度臨時評議員会（第 2 回）の開催

(2) 評議員会

定時評議員会 出席者 14 名／定数 15 名

ア 期 日 6 月 25 日（木）

イ 議 題

i 決議事項

- 第 1 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員の選任
- 第 2 号議案 令和元年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業報告  
の認定
- 第 3 号議案 令和元年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計決算  
の認定
- 第 4 号議案 令和 2 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正  
予算（第 1 回）の認定

第 1 回臨時評議員会 出席者 14 名／定数 15 名

ア 期 日 12 月 3 日（木）

イ 議 題

i 報告事項

- 第 5 号議案 行政機関による立入検査結果及び報告
- 第 6 号議案 令和 2 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会の中間  
事業報告並びに中間決算に伴う定期監事監査報告

ii 決議事項

- 第 7 号議案 令和 2 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計  
補正予算（第 2 回）の認定

第 2 回臨時評議員会 出席者 13 名／定数 15 名

ア 期 日 3 月 25 日（木）

イ 議 題

i 報告事項

- 第 8 号議案 事務局長及び施設長等の選任報告
- 第 9 号議案 令和 2 年度財政援助団体等監査の結果及び報告
- 第 10 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会嘱託等の就業  
規程の一部改正
- 第 11 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会育児・介護休業

に関する規程の一部改正

第12号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会就業規程の一部改正

第13号議案 長泉町在宅福祉総合センターいずみの郷デイサービスセンター運営規程の一部改正（指定通所介護事業）

第14号議案 長泉町在宅福祉総合センターいずみの郷デイサービスセンター運営規程の一部改正（介護予防・日常生活支援総合事業）

第15号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部改正

ii 決議事項

第16号議案 令和2年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正予算（第3回）の認定

第17号議案 令和3年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業計画

第18号議案 令和3年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計予算

(3) 評議員選任・解任委員会

第1回委員会 出席者3名／定数3名

ア 期 日 6月10日（水）

イ 議 題 第1号議案 評議員1名の選任

第2回委員会 出席者3名／定数3名

ア 期 日 11月24日（火）

イ 議 題 第2号議案 評議員1名の選任

4 監査及び行政機関調査の実施状況

(1) 監事監査

① 令和元年度決算監査

ア 期 日 5月28日（木）

イ 出席者 監事3名、会長、事務局長、職員12名

② 令和2年度中間監査

ア 期 日 11月16日（月）

イ 出席者 監事3名、会長、事務局長、職員10名

(2) 財政援助団体監査

ア 期 日 10月20日（月）

イ 出席者 監事3名、会長、事務局長、職員6名、町福祉保険課1名

5 役員研修の実施状況

- (1) 市町社会福祉協議会監事研修会（WEB及び資料送付により実施）

ア 期 日 4月16日（木）13：00～16：00

イ 参加者 監事3名

6 苦情解決窓口設置事業

福祉サービスに対する利用者からの苦情や意見・要望を幅広く汲み上げサービスの改善を図る観点から苦情解決窓口を設置し、次の体制で対応を図った。

(1) 組織体制

苦情解決責任者	植松幸則
苦情受付担当者	前田宏介、勝又和佳子
第三者委員	須田滋郎、大嶋優子

（第三者委員任期：平成31年4月26日から令和3年4月25日）

(2) 苦情・要望解決の状況

施設名	内 容										計	
	ケア関係		嗜好・選択等		財産管理等		制度・施策等		その他			
	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望
福祉会館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いずみの郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
わかあゆ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【事業の成果と課題】

当期中の苦情、要望は0件であった。引き続き、適正な福祉サービスの提供ときめ細かな意見、要望への対応に努めていきたい。

7 事務局体制の整備と職員の資質向上

職員の退職に伴う補充を行い、適正な職員配置による安定した組織運営に努めたほか、職員の資質向上のための研修への参加をはじめ、業務に必要な資格の取得について啓発、奨励した。

(1) 職員数の状況

① 年度内の職員数の状況 (単位：人)

	正規	嘱託	パート	短時間 パート	登録	合計
R2. 4. 1	22	8	7	13	11	61
R2. 9. 30	22	8	8	14	10	62
R3. 3. 31	20	8	6	15	11	60

② 年度内の職員数の増減 (単位：人)

増	0	0	2	4	2	8
減	△2	0	△3	△2	△2	△9
増減	△2	0	△1	2	0	△1

③ 年度当初における職員数の比較 (単位：人)

	正規	嘱託	パート	短時間 パート	登録	合計
R2. 4. 1	22	8	7	13	11	61
R3. 4. 1	18	10	4	16	10	58
増減	△4	2	△3	3	△1	△3

(2) 会議・研修参加状況 (別表による)

(3) 労働安全衛生

① 職員健康診断の実施

ア 期日 8月4日・5日

イ 受診者 52名

② 職員ストレスチェック

ア 期日 8月4日

イ 受験者 37名

令和2年度 会議・研修会等参加状況（事務局）

日 時	内 容	参加者
4月23日	駿東&賀茂市町社協生活支援コーディネーターミーティング【WEB】	事務局職員 1名
5月22日	市町社協生活支援コーディネーター&地域福祉担当者会議【WEB】	事務局職員 1名
5月25日	静岡県市町社会福祉協議会連絡協議会幹事会【WEB】	事務局 長
6月1日	令和2年度社会福祉法人運営管理研修会新型コロナウイルスの正しい理解と感染者から利用者、職員を守るために、今できること【WEB】	事務局職員 1名
6月12日	令和2年度日常生活自立支援事業新任専門員研修会【WEB】	事務局職員 2名
6月26日	静岡県の地域福祉を考えるブロック会議全体会【WEB】	事務局職員 1名
7月16日	令和2年度市町社会福祉協議会会計実務研修会【WEB】	事務局職員 1名
7月17日	生活支援体制整備事業全国移動サービス勉強会	事務局職員 1名
7月20日～ 8月9日	社会福祉法人簿記入門講座【WEB】	事務局職員 4名
7月20日～ 8月9日	社会福祉法人・施設事務職員経理基礎講座【WEB】	事務局職員 2名
7月27日	令和2年度赤い羽根共同募金市町共同募金委員会事務担当者会議	事務局職員 1名
7月30日	県下市町社会福祉協議会保証機能研究会【WEB】	事務局職員 1名
8月5日	新型コロナウイルス感染拡大下におけるICTを活用した地域の繋がりづくり～オンラインサロン～【WEB】	事務局職員 1名
8月6日～ 7日	令和2年度市町社会福祉協議会新任職員研修会【WEB】	事務局職員 3名
8月7日	静岡県の地域福祉を考えるブロック会議及び地域別研究会	事務局職員 1名
8月31日～ 9月8日	社会福祉法人予算管理基礎講座【WEB】	事務局職員 1名
8月31日～ 11月16日	令和2年度日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会 I【WEB】	事務局職員 1名
9月9日	令和2年度市町社会福祉協議会地域福祉教育担当者会議【WEB】	事務局職員 1名
9月15日	ボランティアコーディネーター実務研修「リスクマネジメント研修【WEB】	事務局職員 1名
9月17日	緊急市民講座@オンライン「コロナ禍で起こっている人権問題」 講義「コロナ禍における差別問題」【WEB】	事務局職員 1名
9月18日	緊急市民講座@オンライン「コロナ禍で起こっている人権問題」 講義「コロナ禍における誹謗中傷を防ぐ感染者情報公開のあり方」【WEB】	事務局職員 1名
10月13日	全国社会福祉協議会オンラインサロン2【WEB】	事務局職員 1名
10月17日	令和2年度生活支援コーディネーターフォローアップ研修	事務局職員 1名
10月20日	HUGオンライン（福祉施設バージョン）【WEB】	事務局職員 1名
11月18日	令和2年度日常生活自立支援事業現任生活支援員研修会	事務局職員 1名
11月19日	静岡県下市町社協介護保険部会幹事会【WEB】	事務局職員 1名

令和2年度 会議・研修会等参加状況（事務局）

日 時	内 容	参加者
11月20日	災害ボランティアセンターの設置・運営費等に関する説明会【WEB】	事務局職員 1名
11月25日～ 12月8日	社会福祉法人・施設事務職員税務実務専門講座	事務局職員 1名
11月26日	DocuWorks ハンズオンセミナー初級コース【WEB】	事務局職員 2名
12月9日～ 12月10日	令和2年度生活支援コーディネーター研究協議会【デマンド配信WEB視聴】	事務局職員 1名
12月15日	第16回静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練 オンライン説明会【WEB】	事務局職員 1名
12月18日	ZOOM入門セミナー（超・基礎編）～まだ間に合う！使い方の基本を覚えよう～【WEB】	事務局職員 1名
12月25日	生活支援コーディネーター研修会【WEB】第1層主催	事務局職員 1名
12月28日	生活困窮者自立支援事業緊急会議【WEB】	事務局職員 1名
1月14日	令和2年度コミュニティワーク研修会【WEB】	事務局職員 3名
1月15日	令和2年度生活支援コーディネーター養成研修【WEB】	事務局職員 1名
1月18日	生活困窮者自立支援事業 学習支援運営委員会	事務局職員 2名
1月20日	令和2年度ボランティアコーディネーター養成研修【WEB】	事務局職員 1名
1月22日	生活困窮者自立支援事業従事者養成研修【WEB】	事務局職員 1名
1月25日	生活支援コーディネーターファシリテーション講座【WEB】第1層主催	事務局職員 1名
1月27日	災害ボランティア連携・共同研修会【WEB】	事務局職員 1名
1月28日	広報力WEBセミナー～頑張らない広報の仕方～【WEB】	事務局職員 1名
1月29日	令和2年度認知症初期集中支援チーム現任者研修会【WEB】	事務局職員 1名 認知症対応型通所介護 1名
2月2日	令和2年度地域アセスメント研修【WEB】	事務局職員 2名
2月7日	令和2年度小山町災害対応研修会【WEB】	事務局職員 1名
2月9日	令和2年度地域ケア会議活用推進研修【オンデマンド配信】	事務局職員 1名
2月10日	令和2年度生活支援コーディネータースキルアップ研修【WEB】	事務局職員 1名
2月15日～ 16日	令和2年度市町社会福祉協議会決算実務研修会【WEB】	事務局職員 1名
2月17日	令和2年度移動サービス事例報告会【WEB】	事務局職員 1名
2月19日	社会福祉法人等ネットワーク化協働推進事業4市町社協オンライン情報交換会【WEB】	事務局職員 1名
3月4日	成年後見制度利用促進広域研修【WEB】	事務局職員 2名
3月13日	静岡県東部ボランティア交流会	事務局職員 1名

令和2年度 会議・研修会等参加状況（事務局）

日 時	内 容	参加者
3月22日	静岡県多文化共生総合相談センター（かめりあ）連携研修会【WEB】	事務局職員 1名
3月28日	成年後見制度利用促進広域研修（全体会）視聴【WEB】	事務局職員 2名

令和2年度 会議・研修会等参加状況（いずみの郷）

日 時	内 容	参 加 者
6月1日	新型コロナウイルスの正しい知識研修【WEB】	通 所 介 護 1 名
7月9日	社会福祉法人簿記基礎講座【WEB】	セ ン タ ー 1 名
7月20日～8月9日	社会福祉法人簿記入門講座【WEB】	セ ン タ ー 1 名
7月20日～8月9日	社会福祉法人・施設事務員会計実務専門講座【WEB】	セ ン タ ー 1 名
8月31日～9月8日	社会福祉法人予算管理基礎講座【WEB】	セ ン タ ー 2 名
8月31日	静岡県介護支援専門員更新研修【WEB】	居 宅 介 護 支 援 1 名
10月2日	認知症介護実践者研修【WEB】	認知症対応型通所介護1名
10月20日	社会福祉法人・施設事務員会計実務専門講座【WEB】	セ ン タ ー 1 名
11月25日～12月8日	社会福祉法人・施設事務員税務実務専門講座【WEB】	セ ン タ ー 1 名
2月1日	若手・新任職員の定着、活躍に繋げるチームマネジメント【WEB】	セ ン タ ー 1 名
2月10日	看護職員高齢者の褥瘡・皮膚ケア研修【WEB】	認知症対応型通所介護1名
2月12日	高口光子の失敗しない新人育成研修【WEB】	一 般 型 通 所 介 護 1 名
2月15日～16日	令和2年度市町社会福祉協議会決算実務研修会【WEB】	セ ン タ ー 1 名
3月1日	医療介護ビジネスセミナー介護保険制度改正について【WEB】	居 宅 介 護 支 援 2 名
3月1日	高口光子の認知症の人に寄り添うプロの介護セミナー【WEB】	一 般 型 通 所 介 護 1 名
3月2日	人が育つ組織づくり講座【WEB】	一 般 型 通 所 介 護 1 名
3月4日～5日	令和2年度認知症対応型サービス事業管理者研修【WEB】	一 般 型 通 所 介 護 1 名
3月5日	新型コロナウイルス感染症対策講座【WEB】	一 般 型 通 所 介 護 1 名
3月12日	介護支援専門員更新研修	居 宅 介 護 支 援 1 名
3月23日	地域における装具へのリハ専門職の関わり【WEB】	居 宅 介 護 支 援 1 名
3月29日	介護支援専門員更新研修	居 宅 介 護 支 援 1 名
3月30日	介護支援専門員更新研修	居 宅 介 護 支 援 1 名

## 1-2 地域福祉活動事業

### 1 地域福祉活動計画における4つの施策の方向の推進と調査研究事業

#### (1) 施策の方向1「誰もが安心して生活できる地域での居場所づくり」

##### (1)-1 高齢者の活躍の場の提供

当期は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、講座の開催を見送った。

##### (1)-2 みんなで悩みを話し合える機会づくり

###### ① 小地域福祉活動推進事業

地域の福祉課題の発見と解決を地域住民が主体的に行うことを目標に、区単位のサロン活動を主な活動として、住民主体による福祉活動が充実するよう、地域支援を行った。

しかし、当期は新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から活動や取組みが例年通りにできない状況が続いた。

ア 活動区 22区

イ 活動費の助成

・年額 50,000円/区を上限に必要額

ウ 連絡会

例年4月に開催していたが、緊急事態宣言発令のため連絡会の開催は見送った。活動再開にあたり、新型コロナウイルス対策について厚生労働省や静岡県等からの情報を整理し、書面で情報提供を行った。

###### ② 第1回小地域福祉活動レクリエーション研修会

・開催日 9月30日(水)

・参加 17名

第2回小地域福祉活動レクリエーション研修会

・開催日 11月5日(木)

・参加者 16名

・講師 内藤ルミ子氏(レクリエーションインストラクター)

・内容 小地域福祉活動実践者等を対象に、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため休止していた活動の再開時の留意点、接触のないレクリエーションの仕方の研修を行った。



「レクリエーション研修会」

###### ③ サロン活動の支援

区公民館で介護予防、認知症予防、閉じこもりの解消、交流などを目的にレクリエーションや簡単な体操などを行うための用具の貸出を行

った。また、レクリエーション等にはシニアクラブ長泉活動推進相談員の協力を得て実施することができた。

なお、接触の少ない活動としてレクリエーション研修会で講師が紹介した「ラダー」など、新型コロナウイルス感染症対策を意識した貸出用具を購入した。

#### <事例紹介（一例）>



「原区」



「谷津区」

#### (1)ー3 気軽に利用できる地域の子育て支援組織の拡充

未就園児の子どもや保護者がふれあう場づくりを小地域福祉活動の一環として活動を支援し、運営協力者の発掘や人材育成に取り組む。

##### ① 三軒家区&エンゼル西区（6年目）

三軒家区公民館で三軒家区・エンゼル西区の親子に遊び場を提供している。元民生委員を中心に区長、民生委員、ボランティアで運営し、身近な地域で気軽に行える子育て支援の一つとして活動を行っている。



「三軒家区 & エンゼル西区子育てサロン」

#### 【事業の成果と課題】

##### 小地域福祉活動推進事業

コロナ禍により例年通りの活動ができない状況において、地域での活動実践者がどのように地域での繋がりをつくっていくのか苦悩している。今後もしばらく同様の状況が続くと予測されるなか、どのように支援していくかが課題である。

#### (2) 施策の方向2「地域福祉を担う人づくり」

##### (2)ー1 福祉の心を育む力

日頃から地域でのあいさつや声かけ、顔の見える関係となるよう心がける地域づくりと、子どもの頃から高齢者や障がいのある人とのふれあいを

通じて、福祉の心を醸成・育成するとともに、様々なボランティア団体への支援、研修会を企画し、福祉の担い手の育成を図った。

① 福祉教育実践校事業

児童及び生徒の社会福祉への理解と関心を高め、地域社会を巻き込んだ福祉を進めるため、福祉教育実践校活動を推進した。

指定校	実施期間
長泉小学校	通算26年目
南小学校	通算27年目
北小学校	通算26年目
長泉中学校	通算27年目
北中学校	通算26年目
知徳高等学校	通算25年目

ア 活動費の助成 1校あたり年額100,000円を上限 4校申請有り  
高齢者疑似体験セットなど福祉教育推進に必要な用具の購入等

イ 担当者打合せ会

新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から中止した。

ウ 活動の相談、支援

- ・福祉教育の教材として学校に車椅子を貸し出す際、正しい使い方を生徒に伝達できるよう使用方法の説明を教員に行った。
- ・知徳高校から放課後等デイサービスへ訪問する事前学習として、障害児福祉サービス等についての講話の依頼があり、社会福祉法人静香会と調整し実施した。
- ・知徳高校1年部からコロナ禍により施設実習が困難なためレクリエーションと傾聴の研修実施について相談があり、長泉町身体障害者福祉会、傾聴ボランティアふらっとの協力により実施した。

「傾聴講話」

開催日 11月4日(水)

協力 傾聴ボランティア「ふらっと」

「レクリエーション研修会」

開催日 11月6日(金)・13日(金)

協力 レクリエーションボランティア



「傾聴講話」



「レクリエーション研修会」

- ・長泉北中学校からの依頼で1年生に対し職業講話を行った。  
開催日 11月9日(月)  
内容 「職業講話～ひらけ！夢への扉～」にて福祉の仕事(社会福祉士)についての講話

② 夏休み中学生福祉体験学習

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止とした。

(2)ー2 福祉を担う人づくり

① ボランティア団体の支援

ボランティア活動を円滑に進めるため、活動の拠点となる福祉団体室、ボランティアルームの貸出を行うとともにボランティア団体を把握し連絡調整を行った。

※長泉町ボランティア連絡会加入団体(5月27日現在)

- ・団体数 32団体(前年度比2団体減)
- ・会員数 728名(前年度比46名減)

② ボランティア情報提供事業

ボランティア活動への参加促進を図るため広報啓発活動を行った。

ア 『社協だより』…<ボランティア情報>

イ ホームページ…ボランティア情報(ボランティアとは・団体紹介)

ウ ボランティア情報館内掲示板…福祉会館いずみの郷連絡通路設置

③ ボランティア活動支援事業

ア ボランティア保険への加入

全社協のボランティア保険へ加入事務の手続きを行った。

- ・加入件数：個人7件、団体8件
- ・加入者数：225人

イ マイクロバスの運行による活動支援

新型コロナウイルス感染症の影響で、福祉施設でのボランティア受入中止を受けて、マイクロバスの運行も中止した。

ウ 福祉会館会議室等の利用料減免

登録ボランティア団体に対し、会議室等の利用料減免を行った。

エ 収集品の受け入れ窓口の開設及び送料の負担

使用済み切手、使い古しの木綿布の収集を行った。収集品はボランティアにより整理されている。なお、新型コロナウイルス感染症の影響で、使用済み切手受入先が収集品受付を休止しているため、整理された収集品は福祉会館で保管している。

オ 給食ボランティア衛生管理

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、いずみの郷厨房における給食ボランティア活動は休止となっている。

④ ボランティア相談事業

ボランティア入門、活動上の相談、支援の依頼等10件の相談及び需要調整を行った。

⑤ 関係機関・団体との連携

ア 長泉町ボランティア連絡会事務局

町内のボランティアグループが協働してボランティア活動の振興を図ることを目的に設立したボランティア連絡会への支援を行った。

- ・事業等の運営に対する支援（正副会長会、理事会の開催等）
- ・事業運営費の補助（50,000円）

イ 福祉施設との連携と情報の共有体制の確立

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、傾聴ボランティア等の受入休止が続いている。

⑥ 「ボランティア・市民活動シンポジウム（WEB開催）」視聴会

コロナ禍において活動の機会が減少しているボランティアの研修機会を確保するため、WEB環境のないボランティア等が福社会館研修室で視聴できるよう環境を整え実施した。

- ・開催日 10月4日（日）
- ・場 所 福社会館2階研修室
- ・参加者 12名
- ・内 容 「広がれボランティアの輪」連絡協議会主催のシンポジウム視聴会。テーマは「誰ひとり取り残さないためのボランティア・市民活動の挑戦～持続可能な私づくり、社会づくり～」。
- ・その他 参加者にボランティア活動や地域活動の取り組み状況のアンケートを実施した。10月の時点で「行っていない」が7名と一番多く、次が「今までと取り組み内容等を変えて活動を再開した」の5名であった。

(2)－3 地域福祉活動への参加促進

① 福祉健康まつり開催事業

福祉・健康・介護に関する事業の啓発と福社会館、健康づくりセンター、いずみの郷の施設の紹介を行い、関係団体の参加の輪を広げ、来場者との相互の交流を図ることにより、地域ぐるみの福祉意識の高揚、健康づくりの推進、介護保険制度の普及促進を図ることを目的として10月第3日曜日に福祉健康まつりを開催している。

今期は新型コロナウイルス感染症予防のため、6月に町と協議し、中止を決定し、7月に関係団体に中止のお知らせを行った。

【事業の成果と課題】

1 ボランティア活動支援

新型コロナウイルス対策でマスク着用が求められる一方、容易に店頭で購入できない時期に手作りマスクの寄贈があり、町内高齢者福祉施設や母子寡婦福祉会等、マスクを必要とする方へお渡しした。

自分にできることで社会貢献をという方の気持ちを大切に、地域福祉を担う人づくりにつながった出来事と考える。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響で従来通りの活動ができない

ボランティア活動者も少なくない。その方たちの支援や新たな取組を共に考えていく必要がある。



## 2 福祉の心を育む力

知徳高校から依頼を受け、地域活動実践者の協力を得て「傾聴講話」「レクリエーション研修会」を行った。地域のボランティア活動で学んだことを含め、生徒に伝えてほしいと地域活動実践者に協力依頼をしたところ「今までの活動経験がお役に立てるのであれば」と快諾していただいた。

傾聴講話では「傾聴」の大切さと体験談を、レクリエーション研修会では、レクリエーションを楽しみながら、高齢者や障がい者とのコミュニケーションで大切にしていることなどを生徒に伝えていただき、知徳高校の先生から好評であった。

地域福祉活動から得たことを次世代に伝えていく活動を、今後も考えていきたい。

### (3) 施策の方向3 「いざというとき連携・協力できる地域づくり」

#### (1)ー1 みんなでつくる安全・安心なまちの確保

##### ① 「HUGオンラインバージョン体験会」

- ・開催日 8月29日(土)、9月12日(土)
- ・場 所 参加者自宅、福祉会館ミーティングルーム・相談室
- ・講 師 HUGのわ主宰 倉野康彦氏
- ・参加者5名(2日間合計)
- ・内 容 災害ボランティアネットワーク長泉の協力を得て実施。従来の避難所運営ゲーム(HUG)はグループで密接になって進行するが、オンラインで実施することで、集合せず、新型コロナウイルス感染症予防をしながら学習する機会を得ることができた。



「HUGオンラインバージョン体験会」

##### ② 「福祉と防災の最前線-連携の取り組みと課題」視聴会

- ・開催日 3月7日(日)
- ・場 所 福祉会館4階会議室にて受講

- ・参加者 災害ボランティアネットワーク長泉会員2名
- ・内容 地域安全学会主催の研修。災害ボランティアネットワーク長泉会員から情報提供があり、会員研修として視聴環境のない会員を対象に実施した。

③「東日本大震災10年フォーラム」視聴会

- ・開催日 3月14日(日)
- ・場所 福社会館ボランティアルーム
- ・参加者 災害ボランティアネットワーク長泉会員3名
- ・内容 「広がれボランティアの輪」連絡会議主催の研修。災害ボランティアネットワーク長泉会員研修として視聴環境のない会員対象に実施。なお、長泉町ボランティア連絡会会長も自宅視聴した。



「東日本大震災10年フォーラム視聴会」

(3)ー2 総合的な総合相談体制の確立

① 福祉情報発信力の強化

新型コロナウイルス感染症拡大防止により外出や地域福祉活動が停滞するなかで、繋がりを絶やさない活動や今できることの情報発信を行った。また社協だよりとホームページとを連動し情報提供を行った。

- ・社協広報誌『社協だより』 発行部数 16,900部  
5月1日号(No.257)～4月1日号(No.268)

【事業の成果と課題】

1 みんなでつくる安全・安心なまちの確保

「HUGオンラインバージョン体験会」は参加者こそ少ないが、講師や災害ボランティアネットワーク長泉の協力で初めてオンラインを活用した学習機会を設けることができた。

これを機に、インターネット環境があっても自分だけでは不安があったり、インターネット環境がないボランティア活動者がいることも把握でき、コロナ禍における地域福祉活動事業推進のための具体的なオンライン活用方法を考え、次の事業(「ボランティア・市民活動シンポジウム(WEB開催)」視聴会)に繋がった。

2 福祉情報発信力の強化

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から計画していた事業の中止

や延期に伴い、社協だよりの情報コーナーは中止のお知らせが続いた。コロナ禍においても感染症対策を施しながら地域福祉活動を開始した団体等へ取材をすることで前向きな情報発信となるよう努めた。掲載した内容の問合せもありコロナ禍での活動に関心を寄せていることがわかった。

#### (4) 施策の方向4「住民・民間・社会福祉協議会・行政との協働」

##### ① 民生委員・児童委員協議会活動との連携

地域福祉活動を推進するため、日頃から民生委員・児童委員との連携を図るとともに活動費の支援を行った。

- ・役員会 月1回 初旬 ・定例会 月1回 中旬

新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月と5月の定例会は中止となり、6月からの定例会は会議人数を半分に分け2部制で再開した。

また2月定例会議からは2部会ずつグループ分けをしいずみの郷集会所と福社会館研修室の2つの会場をオンラインでつなぎ開催した。

- ・「地域ブロック会議」への参加

民生委員・児童委員活動を通じた地域の特色や課題を把握し、地域福祉活動の推進に活かすことを目的に地域ブロック会議に参加をしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議への出席は中止し、個別に地域ブロック長と情報共有を行った。

- ・地域ブロック長会議 計2回参加
- ・町社協事業協力費補助金 435,000円

※コロナ禍における協働については、仲良会の報告を参照

##### ② 行政との協働

認知症やひとり歩き高齢者などの見守り支援体制のネットワーク化を図り、みんなで見守る、子どもやお年寄りにやさしい町とするため、関係各方面との情報連絡体制の強化に努めることを目的とする。

ア 「認知症を考える地域会議及び認知症初期集中支援チーム検討委員会」への参画

※会議内容については、認知症初期集中支援チームの報告を参照

イ 生活支援体制整備事業との連携

- ・情報共有、地域福祉活動の相談協力：適宜

ウ 地区活動支援担当者連絡会への参加

地域活動を推進する役場担当課と、情報を共有することを目的とした会議へ参加した。参加機関は、生涯学習課、健康増進課、長寿介護課。

- ・第1回 6月 2日（火）職員1名

エ 長泉わくわくまつりへの参加

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で「長泉わくわくまつり」が中止となった。

##### ③ 社会福祉法人との連携

今年度、法人間連携の枠組みを町内8法人に広げプラットフォームを設置し、防災だけでなく人材確保や育成等、共通のテーマでスケールメリットを活かした取り組みを行い、地域の福祉基盤の底上げ、広域での地域貢献活動に向け連絡会を立ち上げた。

## ア 連絡会

### 「防災勉強会」

- ・福祉避難所設置の課題と情報共有（キックオフミーティング）

開催日 7月31日(金)

参加者 15名（各法人代表者、地域防災課、福祉保険課、県社協）

内容 災害時の福祉避難所の設置、運営について、疑問点や不安な部分を法人間で共有すると共に関係機関と協議を図り、いざという時スムーズな避難所の設置や運営に繋がられる仕組みを構築するための意見交換を行った。

- ・第1回連絡会

開催日 10月23日(金)

参加者 17名（社会福祉法人代表者、担当者、県社協）

内容 法人間連携の目的の確認、防災、地域課題共有と意見交換

- ・第2回連絡会

開催日 2月2日(火)

参加者 14名（社会福祉法人代表者、(株)日々カメラマン、県社協）

内容 魅力発信コンテンツ進捗報告と令和3年度の意向確認

## イ 魅力発信コンテンツ制作プロジェクト

人と関わることの魅力を伝えられるようなポスターとパンフレットを制作し、若年層に福祉に関心を持ってもらい「働きたい」と思える福祉のイメージ作りを図った。

開催日 12月17日(木)、1月8日(金)、1月20日(水)、  
2月19日(金)の全4回

参加者 各法人担当者、(株)Blanket（コンサルティング業者）、  
学校法人三島学園知徳高等学校福祉科生徒・教諭、  
町行政課、(株)日々カメラマン、県社協

## ウ ブランディング

本連絡会を象徴する愛称を社会福祉法人職員から募集し、各法人での投票により愛称を決定した。また地域に親しまれるロゴデザイン、マスコットキャラクターを学校法人三島学園知徳高等学校創造デザイン科・美術工芸部の生徒に募集を呼びかけ、応募総数48個の中から各法人の投票により採用した。

採用したロゴデザインとマスコットキャラクターを活用した卓上のぼり旗を制作し、本会設置の周知を目的に各法人に配布した。

## エ 研修

- ・施設長、採用担当者向け研修

福祉人材確保については、各法人とも喫緊の課題となっている。そのため、若者の企業選択の志向を知り理解することでより有効な求人活動に繋げること、また職場への定着を図る為に、職員を迎え入れる側の環境をどのように整えるかといったことを目的とし、研修を実施した。

開催日 2月2日(火)

参加者 19名（社会福祉法人代表者、採用担当職員）

講師 株式会社Blanket 取締役 野沢 悠介 氏

講義 「若手・新任職員の定着・活躍につながるチームマネジ

メント・人材育成の視点」

・施設職員向け研修

福祉車両（車いす仕様車）の事故防止の観点から、シートベルトの使用方法など正しい乗車方法を学び移送に係る安全な支援を実践できるよう開催した。また、災害時等の垂直避難の際に活用する救護担架「ベルカ」の使用方法について福祉用具販売員から説明を受け、平時から訓練し適切に活用することで、有事の際に安全に避難支援ができるよう職員研修を実施した。

開催日 3月24日(水)

参加者 31名（講師、社会福祉法人職員、県社協）

場 所 在宅福祉総合センターいずみの郷2階通所介護事業所  
出入口

講 師 福祉車両のよつば代表 川江 徹昌 氏

介護ショップ太助 代表取締役 鈴木 崇 氏

講 義 救護担架と福祉車両の正しい使い方講座

(4) 在宅福祉サービスの推進

ア ひとり暮らし高齢者食事会「仲良会」

町内在住の概ね65歳以上の方を対象に、外出する機会の提供、交流の場となるよう食事会と30分程度の催し物を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。仲良会が中止となり民生委員による訪問活動も減少し、高齢者から孤独感や不安を感じる声が挙がっていた。そこで民生委員・児童委員協議会と協働し、民生委員からメッセージを募集しひとり暮らし高齢者へメッセージを届ける活動を行った。

発行日	メッセージ発信日	メッセージ	印刷部数
7/13	6/8(定例民児協)	あさがお号	100枚
8/17	7/13(定例民児協)	ひまわり号	300枚
9/14	8/17(定例民児協)	コスモス号	500枚
10/12	10/12(定例民児協)	キンモクセイ号	700枚
11/19	11/19(定例民児協)	紅葉号	900枚
12/14	12/14(定例民児協)	ポインセチア号	900枚
1/18	1/18(定例民児協)	スイセン号	900枚
2/8	2/8(定例民児協)	梅号	900枚
3/8	3/8(定例民児協)	たんぽぽ号	1,000枚

また、ひとり暮らし高齢者から「外出の機会が無くなった」「人と会えなくなった」と民生委員に相談が入ったことから、シトラスリボンづくりを行った。

コロナ禍における誹謗中傷や差別のない地域づくりを目指し、シトラスリボンプロジェクトに賛同してリボンづくりを行うことで、①一人暮

らし高齢者の外出の機会を提供し心身の活性化を促す、②リボンづくりが高齢者の社会参加の1つになる、③新たなボランティア活動の場の提供、の効果が期待できるため実施した。

- ・開催日 3月23日(火)
- ・場 所 いずみの郷集会室
- ・参加者 25名

内訳 ひとり暮らし高齢者9名

協力者：シニアクラブ長泉3名、民生委員5名、  
身体障害者福祉会2名、コスモス6名



「シトラスリボン制作の様子」

#### イ 緊急通報システム「福祉電話」設置事業

長泉町に居住するおおむね65歳以上でひとり暮らし高齢者を対象に、福祉電話を設置し、緊急時の通報体制の確立を図った。

設置状況

	設置数
令和2年3月末	95
令和3年3月末	96
増減内訳	取付10 撤去9

#### ウ ひとり親家庭親子交流事業

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日帰り旅行は中止となった。

その代替として、歳末たすけあい見舞金贈呈事業や生活福祉資金（新型コロナウイルス感染症拡大防止特例貸付）申請者で新入学児童・生徒のいるひとり親家庭に対し、入学祝いの図書カードをお渡しした。

#### エ 視覚障がい者情報提供事業

目の不自由な方に対する公共的な情報の提供を行うためボランティアの協力を得て声の広報発行事業や点字による情報提供事業を実施した。

##### i 声の広報発行事業

新型コロナウイルス感染症予防のため、4月から5月まで音声訳ボランティアの活動が休止となり、行政及び利用者6名に連絡調整を行った。

『広報ながいずみ』『社協だより』6月1日号から再開。

- ・『広報ながいずみ』 21回発行
- ・『議会だより』 3回発行
- ・『社協だより』 11回発行

ii 点訳の支援

点字による情報提供が円滑に推進されるよう、福祉団体室内の点字プリンターやパソコンを点訳活動に活用し、ボランティア活動を支援した。ただし、福祉会館が新型コロナウイルス感染症の影響で休館中は福祉団体室での作業は休止となった。

オ 車椅子貸出事業

病院や施設からの一時外泊等、介護保険制度で非該当となる事例に対し介護者の負担軽減を図るため車椅子を貸し出した。

また、学校等で福祉教育の教材として使用する場合、無料で車椅子を貸し出した。

- ・貸出期間 1ヶ月 480円（3ヶ月を限度とする）

車椅子貸出状況

	個人向け貸出件数	教材等貸出件数
令和2年3月末	24	5
令和3年3月末	24	8
増減	0	3

カ 新入学児童黄色い帽子贈呈事業

児童の健全育成と交通安全を祈念する目的で、小学校新入学児童への交通安全帽子を入学時に贈呈した。（経費は令和元年度分）

- ・該当者数 男子246名 女子217名 合計463名

(4) 福祉団体への助成

① 事業概要

高齢者や戦没者遺族、障がい者等当事者及び家族、又は支援者によって結成された各福祉団体に対し、それぞれの目的達成に向けた活動が円滑に行われるよう、運営費の助成や連絡調整、コピー機等の無償提供、福祉会館等貸室利用料の免除、研修などの支援を行った。

また、団体事務局の設置が必要な団体には担当職員を配置し、行事企画運営や参加者取りまとめ等、会務運営の支援を行った。

② 事業内容

- ・福祉団体助成金交付事務
- ・団体事務局の運営（シニアクラブ長泉、遺族会、手をつなぐ育成会）
- ・団体会員及び上部団体等との連絡調整

③ 事務局設置団体

ア シニアクラブ長泉

健康・友愛・奉仕活動を通じて仲間づくり、健康づくりなど生活を豊

かにする楽しい活動、地域を豊かにする社会活動を推進する地縁高齢者団体のシニアクラブ長泉に対して支援した。今期は新型コロナウイルス感染症予防のため会議の一部、行事全般を自粛したなか広報等の活動を中心に支援した。

- i 会務運営支援
  - ・総会（書面決議）
  - ・三役会、理事会（毎月）、友愛部会（6月）、プラスワン委員会（9月）
  - ・上部団体及び単位クラブ連絡調整
- ii 健康・文化活動事業支援
  - ・第50回グラウンドゴルフ大会（中止）・第28回輪投げ大会（中止）
  - ・ながいずみクリーンアップ作戦（9月15日～21日）
  - ・第46回スポーツ大会（中止）・健康ウォーキング事業（各クラブで実施）
  - ・第51回グラウンドゴルフ大会（予選会10/29、11/5・決勝大会11/19）
  - ・サークル活動への支援（グラウンドゴルフ、長泉音頭&レクダンス、フラダンス、健康美体操、学び直し教室）※健康マージャン（中止）
  - ・健康ストレッチ教室（前期中止・後期実施）
- iii 友愛活動その他活動支援
  - ・友愛訪問員研修会、友愛交流会（中止）、交流研修会（中止）
  - ・広報紙「シニアクラブ長泉だより」の編集発行（7月号・1月号）
- イ 長泉町遺族会
  - i 会務運営
    - ・上部団体等との連絡調整・文書受付及び取り次ぎ等
  - ii 団体活動
    - ・総会資料作成補助
    - ・役員・支部長会議等案内
    - ・靖国神社参拝、万灯祭等今期は行事参加を中止
- ウ 長泉町手をつなぐ育成会
  - i 会務運営
    - ・総会（書面決議）
    - ・上部団体及び駿東郡各町育成会との連絡調整
    - ・文書受付及び取り次ぎ等
  - ii 団体活動
    - ・行事案内、参加取りまとめ・行事支援等今期は行事参加を中止
    - ・行事支援者の調整

## ④ 運営費助成団体一覧

(単位：円)

	団体名	助成額	備考
1	シニアクラブ長泉	450,000	事務局支援
2	長泉町遺族会	370,000	事務局支援
3	長泉町身体障害者福祉会	400,000	
4	長泉町手をつなぐ育成会	300,000	事務局支援
5	長泉町母子寡婦福祉会	270,000	
6	精神保健福祉長泉きせがわ会	100,000	
7	沼津地区更生保護女性会長長泉支部	50,000	
8	ながいずみ断酒会	20,000	
合計		1,960,000	

## 【事業の成果と課題】

## 1 社会福祉法人との連携

町内8法人のプラットフォームを設置し、初年度は人材確保や育成をテーマに取り組んだ。小規模法人間でネットワーク化を進めることで人材確保という法人間共通の課題解決に向かい共通認識を持って事業を推進することができた(静岡新聞東部版、静岡新聞全県版掲載)。今後は共通課題である防災をテーマに連絡会を通じ地域の福祉基盤の底上げや広域での地域貢献活動を進めていきたい。

## 2 ひとり暮らし高齢者食事会「仲良会」

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、会食を伴う「仲良会」や区の行事等が中止となり、高齢者の交流や外出の機会が減少した。ひとり暮らし高齢者を対象に、地域との繋がりを絶やさない活動として民生委員から毎月メッセージを届け、高齢者が抱える不安や孤独に寄り添い見守っている。毎月訪問することで顔の見える関係となり、ひとり暮らし高齢者の見守り活動としての状況確認にも繋がっている。またひとり暮らし高齢者から民生委員へのお礼のメッセージが事務局に届くようになった。民生委員からのメッセージとともに掲載しつながりを絶やさない活動が発展している。また民生委員が自発的にひとり暮らし高齢者以外の高齢者への配布や公民館への掲示など活動の輪が広がった。(静岡新聞東部版、全社協 NORMA、県民児協だより、広報ながいずみ掲載)

また、高齢者の交流や外出の機会、社会参加の機会として「仲良会」参加者を対象にシトラスリボン制作を行ったが、この取り組みは次年度も続けていく。

## 3 緊急通報システム「福祉電話」設置事業

福祉電話の取り外し理由は、入所や死去による撤去などであった。入所や死去により廃止届未提出のまま助成金を振込み続けているケースがあるため

今年度も NTT への全件照会を実施し、登録がない場合には速やかに連絡し廃止手続きを行った。電話回線にインターネット環境を設置している利用者には停電時に使用できなくなることを再度通知し緊急時に正しく機能するようチラシを配布した。

#### 4 車椅子貸出事業

社協だより 8 月 1 日号の表紙で車椅子貸出事業の紹介を掲載したが新型コロナウイルス感染拡大予防により外出の機会が減少し上半期の利用は減少した。しかし、下半期にかけて利用者数は増加した。車椅子を必要としている方に安心して利用していただけるよう新型コロナウイルス対策として貸出前後の消毒を徹底した。車椅子の点検については業者による点検が有料となるため今後の対応について協議していきたい。

## 1-3 福祉総合相談事業

### 1 福祉総合相談事業

#### (1) 福祉総合相談事業

町民の身近な相談機関として、福祉に関することをはじめ、様々な悩みや心配事などの相談に応じ、福祉ニーズとサービスを結ぶ支援体制として、民生委員・児童委員や他機関との連携を図りながら、総合的に相談業務を行った。また、相談専用電話を設置し、匿名も含め電話での相談に応じた。

- ① 開設時間 月曜日～金曜日 午前8時15分～午後5時
- ② 開設場所 福社会館3階相談室
- ③ 相談件数 12件
- ④ 相談人数 9人（男性5人、女性4人）
- ⑤ 相談方法 12件（来所3件、電話9件、訪問0件）

相談内容・処理状況					
区分	解決	再来	民生委員	機関紹介	計
生計		3		1	4
年金					
職業・生業					
住宅					
家族				1	1
結婚					
離婚					
健康・衛生					
医療				1	1
精神保健		1			1
人権・法律		1			1
財産					
事故					
児童福祉・母子保健					
教育・青少年					
心身障害者福祉					
母子・父子福祉					
老人福祉					
苦情					
その他		2		2	4
合計	0	7	0	5	12

(2) 生活困窮者の社会参加支援

月1回、失業者および低所得者の社会参加支援として、生活福祉資金、小口資金償還中の者、償還したが就労できていない者、生活困窮者自立相談支援事業利用者等を対象に、社協だより発送作業と茶話会を実施していたが、新型コロナウイルス感染症対策の為、今年度は実施を見送った。

既存の参加者については、訪問や電話連絡することにより、世帯状況の把握に努めた。

2 日常生活自立支援事業

本事業は、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち、判断能力が不十分な人が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うものである。

平成24年度から、相談受付や利用契約の締結と利用者支援を行っている。

(1) 職員配置：専門員3人(兼務)、生活支援員2人※令和3年3月末現在

(2) 利用者数

区 分	令和2年度			
	高認 齢知 者症	障知 害 者 的	障精 害 者 神	そ の 他
継 続	1	3	2	4
新 規	0	0	0	0
解 約	0	0	0	0
小 計	1	3	2	4
合 計	10人			

(3) 相談援助件数（カッコ内数字は生活保護受給者対応数）（単位：件）

内容 対象者 事項	本事業の利用に関するもの				その他	合計
	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	そ の 他		
問合せ件数	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
初回相談件数	1(0)	0(0)	1(1)	2(0)		4(1)
相談援助件数	132(0)	139(25)	182(54)	308(91)		761(170)
合 計	133(0)	139(25)	183(55)	310(91)	0(0)	765(171)

### 3 生活困窮者自立支援法に基づく事業

#### (1) 生活困窮者自立相談支援事業

平成27年度から静岡県の委託を受け、生活困窮者自立相談支援事業を実施した。

- ① 相談件数 519件
- ② 相談実人数 128人（男性86人、女性42人、不明0人）  
うち、本人未特定 0人  
以前からの継続者 14人（男性8人、女性6人）  
今年度新規相談者 114人（男性78人、女性36人）
- ③ プラン確認実人数（再プランを含む件数） 19人（19件）  
プラン評価し支援終了者9人
- ④ 住居確保給付金申請実人数 14人
- ⑤ 支援状況 (単位：件)

相談処理状況	計
電話相談・連絡	145
訪問・同行支援	52
面談	200
所内会議	8
支援調整会議（プラン策定）	16
支援調整会議（評価実施）	7
その他他機関との会議	33
他機関との電話照会・協議	40
その他	18
合計	519

#### ⑥ 支援実績 (単位：人)

今年度新規就労	0
一般就労	0
その他就労系福祉サービス含む	0
他制度、他機関紹介、情報提供等で支援終了（初回評価）	94(0)
〃（2回目以降評価）	0(0)
プラン評価し終結	9(1)
中断・終了（連絡がとれない等）	1(0)
継続支援	24(13)
合計	128(14)

※（ ）内数字は以前からの継続者

※継続支援とは、求職者が就労した後も住居確保給付金受給や相談援助を行っている、就労以外の生活に困窮した課題があり相談援助をしている者等を示す。

⑦ 支援調整会議：全 12 回開催

今年度から、原則毎月第二木曜日 15：30～17：00 の予定で支援調整会議を開催した。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により困窮状態に陥っているケースも多く、他機関との情報交換や連携の場として有効な機会となっている。

(2) 家計相談支援事業

本事業は令和 2 年度から静岡県社会福祉協議会にて実施することになり、連携して支援を実施した。

① 支援実績 今年度新規受付 12 件、昨年度からの継続件数は 2 件

(3) 一時生活支援事業

令和元年度から静岡県の委託を受けて実施した。

① 支援実績 0 件

(4) 住居確保給付金

新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し、生活に困窮する方で住居を失うおそれがある方を対象とした制度利用の支援を実施した。

① 支援実績

生活困窮者自立支援法に基づく住居確保給付金相談実績

	相談件数	面談件数	申請数	貸付との併用	相談者平均年齢	世帯状況	
						単身	複数
4月	12	7	0	1	45.9	0	12
5月	9	5	2	1	35.0	1	8
6月	8	5	2	1	55.0	7	1
7月	4	3	0	1	47.0	2	2
8月	4	4	3	3	57.0	3	1
9月	1	1	0	0	46.0	1	0
10月	2	2	2	2	38.0	0	2
11月	0	0	0	0	0.0	0	0
12月	0	0	0	0	0.0	0	0
1月	2	2	0	2	50.0	1	1
2月	3	3	3	3	44.6	1	2
3月	2	2	2	2	34.5	1	2
合計	47	34	14	16	45.3	17	31

(5) ふじのくに型学びの心育成支援事業（学習支援事業）

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、学習支援の場  
所が確保出来なかったため、福祉会館での実施となった。それにより、  
今まで以上に学習支援の対象者と顔の見える関係を築くことができ、食  
糧支援も効果的に行うことができた。

(6) その他

① 「フードバンクふじのくに」のフードドライブへの協力

- ・夏季フードドライブ（8月1日～8月31日）寄贈食品重量：6キロ
- ・冬季フードドライブ（1月4日～1月31日）寄贈食料重量：150キロ

② フードバンク活用実績 1件（総量：11.6キロ）

4 生活福祉資金貸付事業

静岡県社会福祉協議会が実施主体となり、低所得世帯に対する生活福祉  
資金の貸付の窓口として、長泉町における相談受付、償還事務を行った。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたことによる収  
入減少、失業者を対象とした特例貸付2種（緊急小口資金、総合支援資金）  
の貸付の相談が100%を占めた。

(1) 貸付実績

生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付相談実績

	相談件数	面談件数	申請数	貸付申請 総額 (万円)	内 訳 (件数)		相談者 平均年 齢	世帯状況	
					10万	20万		単身	複数
4月	35	26	10	160	4	6	47.8	10	25
5月	10	8	14	180	10	4	58.8	3	7
6月	14	10	7	90	5	2	44.6	10	4
7月	12	9	5	90	1	4	39.0	5	6
8月	6	5	5	90	1	4	54.3	1	5
9月	6	6	4	80	0	4	52.3	3	3
10月	10	10	10	150	5	5	54.7	6	4
11月	6	6	5	100	0	5	47.6	1	5
12月	4	4	5	80	2	3	50.8	1	4
1月	5	5	5	90	1	4	36.6	2	3
2月	11	9	11	210	1	10	46.4	5	6
3月	10	8	9	170	1	8	44.1	2	8
合計	129	106	90	1,490	31	59	48.1	49	80

総合支援資金貸付相談実績

	相談件数	面談件数	申請数	貸付申請 総額 (万円)	特例貸付 との併用	相談者 平均年齢	世帯状況	
							単身	複数
6月	2	1	1	60	1	32.5	0	2
7月	8	7	1	40	1	51.2	3	5
8月	9	9	9	495	9	53.4	5	4
9月	6	6	6	315	6	40.0	2	4
10月	4	4	4	210	4	37.5	2	2
11月	8	8	8	385	8	58.3	3	5
12月	5	5	5	285	5	46.8	1	4
1月	4	4	4	210	3	51.3	2	2
2月	8	8	8	450	8	58.0	2	6
3月	15	10	14	815	12	45.6	4	11
合計	69	62	60	3,265	57	47.5	24	45

【事業の成果と課題】

総合的な相談対応

総合相談窓口として多種多様な相談に対応しているが、今年度は初回相談時より生活福祉資金の貸付や生活困窮者自立支援事業に類する相談が多く、総合相談としての対応件数は減少している。しかしながら、今年度は刑余者の地域生活の支援など、総合相談の機能を活かして支援を行う事例もあった。

相談対応のみならず、制度の狭間にいる子どもを支援しているスクールソーシャルワーカーの活動支援として、福祉総合相談事業で連携機関の提案や食料支援等を行った。

日常生活自立支援事業

金銭管理のイメージが関係機関に浸透し問い合わせも多いが、福祉サービス利用支援が前提にあるということや、判断能力が不十分な人を対象としていること等、事業についての正しい周知を続けることが課題である。

また、今期は日常生活自立支援事業から成年後見制度に移行するケースも出てきており、関係機関とケース会議を重ねながら適切な制度利用に繋がるよう支援を行った。

生活困窮者自立支援事業

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により困窮状態に陥った方の相談が増加した。

令和2年4月より毎月支援調整会議が開催されることになり、今まで以上に関係機関と連携を図ることに繋がっている。

### 生活福祉資金貸付事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響を受けたことによる収入減少、失業者を対象とした特例貸付2種（緊急小口資金、総合支援資金）の相談が多く、貸付の申請に終始した年度であった。

## 1-4 共同募金助成金事業

### 1 一般募金助成金事業

昨年度寄せられた共同募金及び歳末たすけあい募金の助成金により、福祉育成援助活動費として4事業、老人福祉活動費として2事業を実施した。

なお、福祉健康まつりは新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止になったが、事業中止に関わる費用のみ活用した。

助成金総額として当初3,500,608円を受け入れたが、新型コロナウイルス感染症の影響により計画通りに事業実施できなかったため、当年度不用額2,603,700円を精算し、令和3年度の共同募金助成金事業費に活用できることになっている。

(単位：円)

項 目	期 日	内 容	助成額	
1 福祉育成援助活動費			706,908	
1	福祉教育実践校事業	通年	指定校助成金	300,000
2	福祉健康まつり開催事業	—	事業費	6,300
3	生活困窮者等食糧支援パック	通年	事業費	35,000
4	ひとり親世帯入学祝い金贈呈事業	3月24日	事業費	120,000
5	新入学児童入学祝贈呈事業 (黄色い帽子)	—	黄色い帽子購入	245,608
2 老人福祉活動費			190,000	
1	ひとり暮らし高齢者支援 (メッセージ配布・シトラスリボン)	7月 ～3月	事業費	10,000
2	シニアクラブスポーツ大会	※新型コロナウイルス感染症予防のため中止		0
3	緊急通報システム「福祉電話」設置事業	通年	事業費	180,000
助成金総額			896,908	

## (2) 費用按分事業内訳

項 目		サービス区分1 (共募助成金)	サービス区分2 (地域福祉活動)	総事業費 (1+2)
1	福祉教育実践校事業	300,000円	100,000円	400,000円
2	福祉健康まつり開催事業	6,300円	0円	6,300円
3	生活困窮者等食糧支援パック	35,000円	0円	0円
4	ひとり親世帯入学祝い金贈呈事業	120,000円	3,392円	123,392円
5	新入学児童入学祝贈呈事業(黄色い帽子)	245,608円	62,546円	308,154円
6	ひとり暮らし高齢者支援 (メッセージ配布・シトラスリボン)	10,000円	51,256円	61,256円
7	緊急通報システム「福祉電話」設置事業	180,000円	206,100円	386,100円

## 2 歳末たすけあい募金助成事業

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに民生委員の協力を得て見舞金を贈呈した。

対象者	令和2年9月1日に長泉町に住民票を有し、世帯全員の住民税が非課税世帯もしくは準要保護世帯
-----	--

## 【対象者分類別一覧】

(単位：円)

対象者	助成金支出	事務費支出	対象者別合計額
高齢者	305,000	0	305,000
障害児・者	150,000	0	150,000
児童・青少年	1,082,000	0	1,082,000
課題を抱える人	231,000	17,346	248,346
合計	1,768,000	17,346	1,785,346

## 【対象者件数別一覧】

(単位：件)

対象者	在宅	施設	団体	合計
高齢者	61	0	0	61
障害児・者	30	0	1	31
児童・青少年	71	0	0	71
課題を抱える人	15	0	0	15
合計	177	0	1	178

## 【事業の成果】

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、ひとり親家庭親子交流事業「日帰り旅行」やひとり暮らし高齢者食事会「仲良会」が実施できなかった。その代替としてひとり親家庭親子交流事業については入学祝い金贈呈事業、仲良会についてはメッセージ配布やシトラスリボン制作事業を実施した。

歳末たすけあい募金助成事業については、令和元年度に申請要件や周知方法の見直しを行ったが、令和2年度は見舞金の贈呈額について見直しを実施し、子育て世帯に対し見舞金の増額を行った。また、見舞金贈呈者に対しアンケートを実施し、相談ニーズの発掘に努めた。

## 1-5 手話通訳者派遣事業（長泉町受託事業）

### 1 事業目的

聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者、並びに聴覚障がい者等と意思の疎通を図る必要のある者が手話通訳を必要とする場合に手話通訳者派遣し、意思伝達の手段を確保することにより、聴覚障がい者等の福祉の増進及び社会参加の促進に資することを目的とする。

### 2 事業内容

#### (1) 運営状況

- ・登録手話通訳者 5名（町内4名、広域登録1名）
- ・手話通訳等報酬 1時間 3,180円 交通費 1kmあたり 40円支給

#### (2) 手話通訳者派遣事業実績

月	件数	通 訳 者 派 遣 数							項 目 別 件 数									
		時間帯		登録者数		派遣場所		派遣 手話登録者 時間合計	生命 健康	官 公 署	職 業	教 育	教 養 自 己	住 居	地 域 生 活	団 体 活 動	そ の 他	
		昼	夜	町内	町外	町内	町外											
		件数	件数	人数	人数	件数	件数											時間
4月	11	11	0	9	4	4	7	19:35	6	0	5	0	0	0	0	0	0	
5月	5	5	0	3	2	3	2	5:45	3	0	1	0	0	0	1	0	0	
6月	10	9	1	10	3	5	5	19:50	2	0	1	0	0	0	4	3	0	
7月	14	13	1	9	8	6	8	27:10	4	0	0	0	0	0	4	5	1	
8月	10	10	0	4	8	2	8	24:45	6	0	0	0	0	0	1	2	1	
9月	14	14	0	10	7	7	7	27:05	7	0	1	0	0	0	0	4	2	
10月	17	15	2	15	8	11	6	40:35	5	0	0	1	0	0	5	2	4	
11月	13	13	0	8	8	5	8	25:15	7	0	0	1	0	1	1	2	1	
12月	11	11	0	9	5	6	5	24:50	6	0	1	0	0	0	2	2	0	
1月	13	13	0	8	8	6	7	26:40	8	0	2	0	0	0	2	1	0	
2月	14	13	1	9	7	5	9	25:15	8	0	0	1	0	0	1	2	2	
3月	18	17	1	11	10	7	11	45:50	5	0	0	0	0	0	2	3	8	
R2 合計	150	144	6	105	78	67	83	312:35	67	0	11	3	0	1	23	26	19	
R1 合計	192	166	26	126	146	98	94	570:30	67	0	5	8	0	0	5	91	16	

(3) 手話奉仕員養成講座

聴覚障がい者の生活及び関連する福祉制度について理解と認識を深め、手話で日常会話を行うのに必要な手話技術や手話表現技術の習得を図る。

今年度は以下日程で計画し受講生募集をしていたが、委託者と協議の結果、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施を見送った。

- i 日 程 5月21日～令和3年3月18日 毎週木曜 19:00～  
全40講座・6講義
- ii 会 場 長泉町福社会館
- iii 対象者 長泉町在住、在勤の高校生以上の方

(4) 夏休み子ども手話教室

聞こえない人の言葉「手話」の学習を通じて聴覚障がい者との交流と理解を深めることを目的に例年実施しているが、今年度は委託者と協議の結果、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施を見送った。

(5) 新型コロナウイルス感染症対策

委託者と協議し手話通訳者に通訳時に使用するフェイスガードを貸与した。また、寄付でいただいたマウスガードを手話通訳者に渡した。聴覚障がい者や手話サークルの活動の再開に際し、マウスガードの購入相談や製造販売企業との連絡調整を行った。

**【事業の成果と課題】**

当期は手話通訳者派遣数の減少、手話奉仕員養成講座や夏休みこども手話教室を実施しないなど、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた。

次年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、手話奉仕員養成講座を実施できるよう、講師を務める長泉町身体障害者福社会ろうあ部、長泉町登録手話通訳者会と協議する。

## 1-6 心身障害児放課後対策事業（長泉町受託事業）

### 1 事業目的

長泉町心身障害児放課後対策事業は、保護者が労働等により昼間家庭で保育できない心身障がい児を対象として放課後の活動の場を提供することにより、児童の健全な育成及び保護者の養育負担の軽減を図り、もってその福祉の増進に寄与することを目的とする。

### 2 事業内容

- (1) 児童の自主性を尊重した遊び等の見守り
- (2) その他児童の健全育成上必要な活動に関する事

### 3 利用状況

月	開所日数	登録者数	利用延人数	活動状況
4月	5	3	10	4/7～4/26 まで町の要請により閉所
5月	14	3	24	学校が臨時休校のため一日開所
6月	14	3	20	読み聞かせ
7月	12	3	15	七夕の短冊作り
8月	15	3	23	プール
9月	12	3	19	お月見の壁画作り
10月	13	3	16	ハロウィンパーティー
11月	11	3	14	しりとり大会
12月	7	3	10	お誕生会、クリスマス会
1月	7	3	11	かるた大会
2月	11	3	17	お誕生会
3月	13	3	28	送る会
R2 合計	134	36	207	
R1 合計	237	56	606	
増減	△103	△20	△399	

### 4 ボランティア・実習生受け入れ

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外部の受け入れは実施せず。

## 5 研修・学校関係

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修、学校の行事も実施せず。

### 【事業の成果と課題】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため町の要請を受け、4月7日から4月26日まで閉所した。その後、4月27日から臨時利用希望者のみ受け入れを開始した。5月は学校が休校のため一日開所となる。

新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として、毎年夏休みに受け入れしていた学生ボランティアの受け入れを中止し、夏休みの外出、調理実習も中止した。

感染予防対策として、利用者、職員の検温、手洗い、消毒を徹底し、定期的な空気の循環、利用者同士が密にならないよう距離をとり、活動するように配慮した。

学校への訪問もできないため、連携課の先生と密に連絡をとり、児童の情報を共有し、支援した。

## 1-7 小口資金貸付事業

### 1 事業目的

長泉町に居住し、かつ住所登録のある低所得者で、緊急又は不時の出費を要する者に対し、生活の自立と福祉の増進を図るため、民生委員と連携して生活指導及び小口資金の貸付けを行った。

### 2 貸付状況

申 込 状 況		決 定 状 況		申込に対する決定率	
件数	金 額	件数	金 額	件数(%)	金額 (%)
10 件	228,000 円	10 件	228,000 円	100%	100%

### 3 償還状況

項目	貸 付 金 額		償 還 金 額		不納欠損額		貸付残高 ①-②-③
	件数	金額①	件数	金額②	件数	金額③	金額
当年度分	10 件	228,000 円	7 件	189,500 円	0 件	0 円	38,500 円
過年度分残高	6 件	151,500 円	4 件	67,000 円	0 件	0 円	84,500 円
合計	16 件	379,500 円	11 件	256,500 円	0 件	0 円	123,000 円

- ・ 償還終了件数：6 件
- ・ 償還残件数：7 件（当年度貸付分：3 件 過年度貸付分：4 件）

#### 【事業の成果と課題】

生活保護費支給までのつなぎとして 4 件、年金支給や工賃支給までのつなぎとして 4 件、その他の理由で 2 件の貸付を行った。貸付事業単独ではなく、町福祉保険課や生活困窮者自立支援事業との連携が必須になっている。

過年度貸付世帯で 2 世帯が償還を終了させた。

## 1-8 生活支援体制整備事業（長泉町受託事業）

### 1 事業目的

日常生活上の支援が必要な高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために、必要となる多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化を図ることを目的とする。

### 2 業務内容

- (1) 生活支援コーディネーター1名配置
- (2) 生活支援・介護予防サービスのコーディネート等に関する業務
  - ① 社会資源の把握
  - ② ネットワークの構築
  - ③ ニーズと取組みのマッチング

### 3 社会資源の把握や創出

#### (1) 資源開発

住民主体のサービスの創出を目指し、第2層協議体及び第2層SCと連携しながら協議体への後方支援を行った。

#### 第1層協議体（全域）

協議体構成員	8名（任期満了による交代1名）
所属団体	民生委員・児童委員協議会、区長連絡協議会、シニアクラブ長泉、シルバー人材センター、福祉サービス提供者、長寿介護課、第1層SC
SC所属	長泉町社会福祉協議会
協議体設置時期	平成30年4月
協議体開催数	2回（うち1回書面決議）
協議体開催場所	長泉町地域防災センター

#### 第2層協議体（北小）

協議体構成員	18名（令和2年度増員なし）
所属団体	民生委員・児童委員協議会、シニアクラブ長泉地域福祉実践者、第2層SC等
SC所属	長泉町北地域包括支援センター（福）聖家族の園
協議体設置時期	令和元年10月
協議体開催数	3回
協議体開催場所	モク・オハナ2階地域交流室
第2層後方支援	協議体の進め方／グループディスカッションの手法／コロナ禍での感染予防対策

第2層協議体（長小）

構成員 所属団体	16名（令和2年度増員あり） 民生委員・児童委員協議会、シニアクラブ長泉 地域福祉実践者、ボランティア団体 区長経験者、第2層SC等
SC所属	長泉町地域包括支援センター
協議体設置時期	令和元年10月
協議体開催数	11回（うち臨時会2回）
協議体開催場所	役場本館第4会議室、防災センター1階、福祉会館
第2層SC後方支援	助成金事業の情報共有／先進地域との情報共有／ 協議体の進め方／感染予防対策／県内外事例紹介

第2層協議体（南小）

構成員 所属団体	9名（令和2年度増員あり） 民生委員・児童委員協議会、シニアクラブ長泉 地域福祉実践者、区長経験者、第2層SC等
SC所属	長泉町南地域包括支援センター（福）蒼樹会
協議体設置時期	令和元年10月
協議体開催数	9回
協議体開催場所	さつき園1階地域交流センター、福祉会館
第2層SC後方支援	助成金事業の情報共有／感染予防対策／事業目的 の確認／県外SC情報の提供

(2) サービスの担い手養成講座等の開催

生活支援・介護予防に関する住民の意識啓発を行い、地域のニーズに対して住民主体で支え合う担い手養成に係る打合せを行った。

県長寿政策課事業：壮年熟期が活躍するいきいき長寿社会づくり事業

開催場所：長泉町役場北館2階会議室

参加者：県長寿政策課、長寿介護課、長小圏域第2層SC、第1層SC

【第1回】7月3日(金) 14:30～15:30 令和2年度計画について（担い手養成講座、オンライン交流会）
【第2回】8月6日(木) 10:00～12:00 担い手養成講座講師打合せ（講義内容検討）
【第3回】10月2日(金) 13:30～15:30 長小圏域第2層協議体オンライン交流会準備
【第4回】2月25日(木) 10:00～11:10 令和3年度計画及び講師（3名）打合せ

※新型コロナウイルス感染予防により令和3年度に延期

(3) オンライン勉強会

福祉会館と講師をオンラインでつなぎ、協議体構成員、第1・2層SC、

長寿介護課を対象に勉強会を行った。

第1層主催研修	
生活支援コーディネーター研修会	日 時：12月25日（金） 13：30～15：30 対 象：第1・2層 SC、長寿介護課 講 師：日本社会事業大学 菱沼 幹男氏 講 義：「コロナ禍における地域づくりと SC の役割」
生活支援コーディネーターファシリテーション講座	日 時：1月25日（月） 13：30～15：30 対 象：第1・2層 SC、長寿介護課 講 師：NPO 法人日本ファシリテーション協会 鈴木 まり子氏 講 義：協議体での意見のまとめ方
県社協主催研修	
令和2年度生活支援コーディネーター養成研修	日 時：1月15日（金）9：00～17：00 対 象：協議体構成員、第1・2層 SC、長寿介護課 出席者：19名
県主催研修	
令和2年度生活支援コーディネータースキルアップ研修	日 時：2月10日（水）13：00～16：00 対 象：協議体構成員、第1・2層 SC、長寿介護課 出席者：19名
令和2年度 移動サービス事例報告会	日 時：2月17日（水）13：00～17：00 対 象：協議体構成員、第1・2層 SC、長寿介護課 出席者：18名

#### 4 ネットワークの構築、地域へのアウトリーチ

さまざまな団体とのネットワークの構築を目的に、事業における進捗状況を説明した。また、協議体へ各団体の取組みを紹介することで、住民主体の助け合いについて前進できるよう情報の共有を行った。

##### (1) 生活支援体制整備事業新聞発行（発行No.4～発行No.11）

各協議体の進捗状況の共有と活動の見える化、情報発信、地域づくりの意識醸成を目的に、生活支援体制整備事業新聞発行した。発送先は協議体構成員と希望する地域住民、1月から区長連絡会資料に添付し協議体活動を周知し助け合い活動を啓発した。

##### (2) 多様な関係主体間との情報交換会

事業説明及び情報収集先
三軒家&エンゼル西区子育てサロン見学／原分区「くつろぎ」／

地域包括支援センターちよいトレ説明会出席・(福)聖家族の園元  
長窪区「生活の足」随行／全国移動サービスネットワーク／認知  
症カフェモク・カフェ／長泉町地域公共交通協議会全3回／介護  
支援専門員長小圏域わくわくケアの会／シニアクラブ長泉適宜／  
民生委員・児童委員協議会(四役会・役員会・定例会議・地域ブ  
ロック長会議)／モリスベース子育てサロン見学／長寿介護課打  
合せ全5回／SC連絡会全4回

## 5 ニーズと取組みのマッチング

### (1) ヒアリング調査

- ① 新型コロナウイルスの影響で地域活動は停滞し地域住民が暮らしにくさを感じる当事者となったことで、これまでの「困りごと」はどのように変化したのか実態把握を行うため、地域活動実践者、区長、シニアクラブ長泉、民生委員・児童委員協議会にヒアリング調査を行った。
- ② ちょっとした困りごとに対するしくみづくりを協議する長小圏域第2層協議体の活動をシルバー人材センター報告しすみ分けや意見交換を行い役割分担の明確化を行った。

### (2) アンケート調査

高齢者が抱える生活課題や社会参加について調査した。

対 象：長泉町民生委員・児童委員協議会、シニアクラブ長泉

実施日：3月8日(月)

## 【事業の成果と課題】

令和元年10月に第2層協議体が立ち上がり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月から6月まで中止となったが、7月から協議体活動は再開し地域に不足するサービスの創出に向けて活発な意見交換が行われている。

コロナ禍においても情報共有や勉強会は継続して行えるようオンライン環境を整え、協議体に提供したことで継続的な活動への一助につながった。協議体の活動時に必要な助成金の確保や事業の啓発を進めると共に、地域の実態調査を継続して行い、住民が自発的に活動を行えるよう後方支援を行っていききたい。

## 【実績】

- ・社会資源ガイドブック発行
- ・静岡新聞東部版社会資源ガイドブック掲載
- ・ふじのくに型福祉サービスガイドブック7月号原分区くつろぎ掲載
- ・広報ながいずみ5/1号掲載
- ・全国社会福祉協議会発行機関誌NORMA12月号誌面掲載
- ・県社協主催生活支援コーディネーターフォローアップ研修活動実践報告

## 1-9 認知症初期集中支援チーム事業（長泉町受託事業）

### 1 事業目的

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で生活することができるよう、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を設置し、認知症の早期診断・早期対策に向けた支援体制を構築することを目的とする。

### 2 事業内容

(1) 支援時間 月曜日～金曜日 午前8時15分～午後5時15分

(2) 支援人員 チーム員 長泉町社会福祉協議会内  
福祉職1名（事務局・介護福祉士）  
医療職1名（いずみの郷・看護師）  
地域包括支援センター職員1名（長寿介護課）  
チーム医 花メディカルクリニック医師

#### (3) 支援内容

① 実働件数 3件（終結1件、継続2件）

② 新規件数 2件（北包括0件、直営包括2件、南包括0件）

#### (4) 実働実績

認知症初期集中支援の実施（6ヶ月を目途に終結）

月	訪問回数 (人回)	チーム員会議	ケース支援	終結
4月	6	2回	No.11	
5月	6	1回	No.11	
6月	4	0回	No.11	
7月	1	1回	No.11	No.11
8月	0	0回		
9月	0	0回		
10月	0	0回		
11月	0	0回		
12月	0	0回		
1月	6	1回	No.12	
2月	3	1回	No.12/No.13	
3月	8	1回	No.12/No.13	
合計	34	7回		

### 3 会議及び研修

#### (1) 認知症を考える地域会議及び認知症初期集中支援チーム検討委員会

##### ① 第1回

- ・日 時 8月5日(水) 13:30~15:00
- ・出席者 チーム員2名、地域福祉活動部門1名
- ・開催場所 長泉町別館防災センター1階多目的室
- ・内 容 長泉町の認知症施策、令和元年度事業報告、令和2年度新規事業、認知症地域支援推進員、認知症初期集中支援チーム活動報告について

※第2回 新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から中止。

##### ② 令和2年度認知症初期集中支援チーム現任者研修会(WEB)

- ・日 時 1月29日(金) 13:30~16:00
- ・出席者 県内認知症初期集中支援チーム チーム員
- ・開催場所 福社会館3階相談室
- ・内 容 行政説明、認知症初期集中支援チーム2市町活動報告  
グループワーク

#### 【事業の成果と課題】

新型コロナウイルス感染症対策として、チーム医の意向によりオンラインでチーム員会議を実施した。事前に説明書類をチーム員で共有することで円滑に会議を行うことができた。今後も支援の状況を共有するツールとして活用していきたい。

また、今回終了したケースは相談部門との連携により支援の方向性が確立した。内部での共有を強化し対象者への支援を行っていきたい。

## 1-10 権利擁護推進事業

### 1 事業目的

この事業は、成年後見制度を安定して利用できるよう、今後需要の増加が見込まれる市民後見人を育成し、制度の普及啓発を行うことで成年後見制度の充実を図ることを目的とする。

また、本会が法人後見の実施機関として体制を構築し、判断能力が衰えても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で生活することができるよう、成年後見制度の利用等により権利擁護支援を行うことを目的とする。

### 2 事業概要

#### (1) 市民後見推進事業（長泉町受託事業）

沼津市、裾野市、清水町、長泉町の2市2町の枠組みにより、広報啓発事業、市民後見人養成研修、市民後見人養成講座修了者に対するフォローアップ講習等を行う。

#### (2) 法人後見事業

本会の単独事業として静岡家庭裁判所の機関設置承諾を得て実施する。

### 3 事業内容

#### (1) 市民後見推進事業

① 市民後見人養成研修事前説明会 8月28日（金）、9月4日（金）

・参加者延べ3名

② 市民後見人養成研修受講申込者3名、決定者3名

③ 市民後見人養成研修 10月9日（金）から12月18日（金）

・施設実習、レポート作成含め、合計49時間

#### (2) 法人後見事業

7月27日（月）裾野市・長泉町・清水町成年後見運営委員会

9月23日（水）初めての法人後見受任にあたり、家庭裁判所調査官による候補者の適格性調査を受け受任に至る。

3月31日現在の受任件数：後見1件 保佐1件 計2件

### 【事業の成果と課題】

沼津市を中心とした2市2町による市民後見人養成研修を開催した。本町から3名が受講し、昨年度の修了者と合わせ市民後見人名簿登録者は4名となった。日常生活自立支援事業生活支援員としての実践を積み、将来市民後見人として選任されるよう担い手の育成に力を入れていきたい。

今年度、裾野市社協、清水町社協と1市2町で成年後見運営委員会を設け、法人後見事業を実施するための体制を整備した。

## 2 老人福祉センター

### 2-1 福祉会館事業（町指定管理事業）

#### 1 事業目的

福祉会館は、老人福祉センター、地域福祉センターの機能を持った複合施設として、住民の健康と福祉の増進並びに住民相互の交流を図るため、健康相談事業、機能回復訓練、文化教養の向上の場として活用され、健康で助けあう生きがいのある町づくりの拠点となるべく隣接する在宅福祉総合センターと連携し、良質な福祉サービスを提供する。

#### 2 管理業務の状況

##### (1) 清掃・環境衛生業務（令和2年度～令和4年度の長期継続契約）

- ① 日常清掃（毎日、火曜日・年末年始を除く※ただし、月曜祝日等で営業した翌日は実施）
- ② 定期清掃 床清掃（年6回） 浴室天井壁面清掃（年4回）
- ③ 窓ガラス清掃、屋上ドレン口ゴミ取り（年4回）
- ④ 衛生管理 害虫防除（年2回）空気環境測定（年4回）
- ⑤ 濾過系統配管消毒業務（週1回）

レジオネラ菌防止対策のため配管の高濃度塩素消毒

- (2) 管理員派遣業務（毎日） シルバー人材センターからの管理員派遣
- (3) エレベータ点検（月1回） エレベータ機器の保守点検（法定点検含）
- (4) 夜間警備業務（毎日） 夜間閉館時の機械警備業務
- (5) 浴槽設備点検（年2回）、 各浴槽設備、ろ過機等点検、24時間対応貯湯槽清掃消毒業務（年1回） レジオネラ菌防止対策の清掃消毒
- (6) 給水設備点検 給水設備（貯水槽、給水ポンプ）の保守点検（隔月1回）、飲料水・給湯水検査（年2回）・貯水槽清掃滅菌作業（年1回）
- (7) 浴槽水水質検査 レジオネラ属菌検査 気泡風呂（2ヶ月／奇数月）一般項目検査（年2回）

※浴室営業延長中（7月～12月）は毎月検査し、浴槽の安全性を確認した。

- (8) 電気保安業務（隔月1回） 機械室内変圧器等、変電・発電設備点検
- (9) トイレ消臭機器保守（隔月1回）大広間前トイレ消臭機器保守管理
- (10) ボイラー設備点検（年4回） 昇温・給湯ボイラー機器の保守点検
- (11) 消防設備点検（年2回） 自動火災報知設備・屋内消火栓・誘導灯及び誘導標識・非常放送設備・消火器の点検
- (12) 自動ドア点検（年2回） 機器の保守点検
- (13) 特殊建築物・建設設備定期報告（年1回） 建築基準法第12条第3項に基づく定期報告書作成業務
- (14) 地下タンク漏貯蔵所漏洩検査（年1回） 重油用地下タンクの微加圧検査

### 3 施設利用状況

#### (1) 長泉町福祉会館利用状況

(単位:人)

月	開館 日数	会議室			浴室・大広間								合 計 (1) +(2)	一日 平均	健 康 相 談	
		有料	無料	小計 (1)	有料				無料							小計(2)
					大人 一般	高齢者 障害者	短時間	小人	シニア クラブ	大人	その他					
4月	5	20	46	66	0	0	0	0	0	0	0	0	66	13	0	
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6月	25	58	459	517	2	182	678	0	8	0	0	870	1,387	55	162	
7月	27	71	788	859	12	495	1,400	16	4	0	0	1,927	2,786	103	204	
8月	26	233	489	722	4	454	1,451	35	10	0	0	1,954	2,676	103	254	
9月	27	257	835	1,092	0	461	1,543	32	3	0	0	2,039	3,131	116	252	
10月	27	238	703	941	0	485	1,680	36	20	0	0	2,221	3,162	117	206	
11月	26	323	801	1,124	5	506	1,610	22	39	0	0	2,182	3,306	127	205	
12月	24	155	982	1,137	11	455	1,635	22	16	0	0	2,139	3,276	137	193	
1月	25	213	503	716	16	434	1,324	19	27	0	0	1,820	2,536	101	214	
2月	24	231	688	919	7	427	1,199	17	46	0	0	1,696	2,615	109	240	
3月	26	280	990	1,270	8	490	1,211	5	25	0	0	1,739	3,009	116	292	
合計	262	2,079	7,284	9,363	65	4,389	13,731	204	198	0	0	18,587	27,950	107	2,222	
R1年度	290	5,666	14,451	20,117	1,241	2,811	29,265	745	1,867	716	326	36,971	57,088	197	5,361	
増減	△ 28	△ 3,587	△ 7,167	△ 10,754	△ 1,176	1,578	△ 15,534	△ 541	△ 1,669	△ 716	△ 326	△ 18,384	△ 29,138	△ 90	△ 3,139	

※新型コロナウイルス感染症予防対策のため、会議室について、4月の当初5日間のみ営業し、浴室・大広間について、4月～5月間は臨時休業、6月以降感染予防対策のものもと利用制限したため前年度と比較し、全体的に大幅な利用減となっている。

※7月～12月まで浴室営業を6か月間延長したため短時間利用者が増加している。

短時間利用者の推移	H22(10月～)	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
	2,777	6,171	7,777	16,997	21,926	26,327	29,130	30,234	34,693	29,265	13,731

※会議室利用は、臨時休業と6月以降の利用制限により全体的に件数及び利用者数とも前年度比半数程度減少している。

## (2) 会議室等利用状況

(単位：件数)

月	会議室等利用件数											
	有料				無料				合計			
	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計
4月	1	2	0	3	4	3	0	7	5	5	0	10
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	2	2	2	6	18	19	11	48	20	21	13	54
7月	1	4	7	12	15	24	25	64	16	28	32	76
8月	3	6	10	19	8	17	19	44	11	23	29	63
9月	6	10	13	29	18	23	25	66	24	33	38	95
10月	2	11	14	27	21	17	21	59	23	28	35	86
11月	9	11	12	32	17	22	26	65	26	33	38	97
12月	3	7	10	20	20	23	28	71	23	30	38	91
1月	4	7	13	24	10	25	16	51	14	32	29	75
2月	4	8	16	28	14	20	17	51	18	28	33	79
3月	5	8	16	29	24	20	26	70	29	28	42	99
合計	40	76	113	229	169	213	214	596	209	289	327	825
R1年度	122	234	128	484	401	295	363	1,059	523	529	491	1,543
増減	△ 82	△ 158	△ 15	△ 255	△ 232	△ 82	△ 149	△ 463	△ 314	△ 240	△ 164	△ 718

(単位：人数)

月	会議室等利用人数											
	有料				無料				合計			
	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計
4月	4	16	0	20	26	20	0	46	30	36	0	66
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	13	23	22	58	191	178	90	459	204	201	112	517
7月	5	23	43	71	294	258	236	788	299	281	279	859
8月	112	64	57	233	97	213	179	489	209	277	236	722
9月	67	104	86	257	312	297	226	835	379	401	312	1,092
10月	22	130	86	238	298	249	156	703	320	379	242	941
11月	125	128	70	323	314	281	206	801	439	409	276	1,124
12月	20	59	76	155	308	279	395	982	328	338	471	1,137
1月	32	49	132	213	116	250	137	503	148	299	269	716
2月	27	83	121	231	244	301	143	688	271	384	264	919
3月	66	77	137	280	429	276	285	990	495	353	422	1,270
合計	493	756	830	2,079	2,629	2,602	2,053	7,284	3,122	3,358	2,883	9,363
R1年度	1,410	2,215	2,041	5,666	4,759	3,407	6,285	14,451	6,169	5,622	8,326	20,117
増減	△ 917	△ 1,459	△ 1,211	△ 3,587	△ 2,130	△ 805	△ 4,232	△ 7,167	△ 3,047	△ 2,264	△ 5,443	△ 10,754

## (3) 浴室、会議室等使用料収入

(単位：円)

月	券売機	回数券	小計	会議室	その他 公衆電話他	合計	R1年度	増減
4月	0	0	0	5,700	10	5,710	795,620	△ 789,910
5月	0	0	0	600	0	600	766,690	△ 766,090
6月	203,400	96,000	299,400	14,400	260	314,060	672,090	△ 358,030
7月	421,600	123,000	544,600	15,600	200	560,400	859,380	△ 298,980
8月	454,500	114,000	568,500	27,800	210	596,510	894,630	△ 298,120
9月	466,300	126,000	592,300	60,500	440	653,240	924,490	△ 271,250
10月	507,600	129,000	636,600	23,100	250	659,950	633,070	26,880
11月	492,400	125,000	617,400	19,600	290	637,290	714,550	△ 77,260
12月	507,700	99,000	606,700	32,100	250	639,050	523,910	115,140
1月	407,200	128,000	535,200	16,300	140	551,640	438,120	113,520
2月	375,800	108,000	483,800	28,100	170	512,070	491,710	20,360
3月	380,900	119,000	499,900	27,200	110	527,210	67,070	460,140
合計	4,217,400	1,167,000	5,384,400	271,000	2,330	5,657,730	7,781,330	△ 2,123,600

## (4) 健康器具利用料収入

(単位：円)

月	カラオケ	セラプレックス	マッサージ	合計	R1年度	増減
4月	0	0	0	0	183,700	△ 183,700
5月	0	0	0	0	183,100	△ 183,100
6月	0	7,400	9,900	17,300	163,200	△ 145,900
7月	0	9,700	19,300	29,000	167,900	△ 138,900
8月	0	11,400	22,600	34,000	178,500	△ 144,500
9月	0	12,900	23,900	36,800	179,800	△ 143,000
10月	0	17,300	23,200	40,500	159,300	△ 118,800
11月	0	19,900	17,900	37,800	162,200	△ 124,400
12月	0	14,500	17,400	31,900	116,800	△ 84,900
1月	0	19,600	14,100	33,700	121,400	△ 87,700
2月	0	18,100	17,300	35,400	140,200	△ 104,800
3月	0	24,100	20,900	45,000	15,400	29,600
合計	0	154,900	186,500	341,400	1,771,500	△ 1,430,100

※感染症予防対策のため4月～5月休業し、6月以降も利用制限のほか年間通じてカラオケを停止したため利用減となっている。

4 (1)水道光熱及び燃料使用量

使用量 月	水道光熱量		燃料使用量
	電気 (単位 : kwh)	上下水道 (単位 : m <sup>3</sup> )	A重油 (単位 : L)
4月	8,343	0	0
5月	5,796	144	0
6月	11,242	0	4,000
7月	16,125	959	4,000
8月	21,771	0	4,000
9月	23,344	1,683	4,000
10月	17,338	0	6,000
11月	16,696	1,848	6,000
12月	17,937	0	6,000
1月	18,869	1,653	4,000
2月	18,772	0	6,000
3月	16,439	1,542	6,000
合計	192,672	7,829	50,000
R1 合計	218,516	12,510	58,000
増減	△ 25,844	△ 4,681	△ 8,000

(2) 水道光熱費・燃料費支出

(単位 : 円)

月	水道光熱費					燃料費	合計	R1 年度	増減
	電気	LP ガス	炭酸ガス	水道	計	A重油			
4月	170,696	11,779	0		182,475	0	182,475	1,128,408	△ 945,933
5月	130,969	2,880	0	42,280	176,129	0	176,129	1,632,131	△ 1,456,002
6月	216,555	1,124	73,872		291,551	338,800	630,351	1,045,141	△ 414,790
7月	298,010	7,236	98,496	230,270	634,012	352,000	986,012	1,638,736	△ 652,724
8月	391,434	6,873	110,808		509,115	356,400	865,515	1,067,972	△ 202,457
9月	401,548	7,236	110,808	400,700	920,292	356,400	1,276,692	1,849,658	△ 572,966
10月	286,936	6,873	86,184		379,993	534,600	914,593	1,140,603	△ 226,010
11月	260,507	7,236	98,496	439,540	805,779	534,600	1,340,379	1,624,069	△ 283,690
12月	270,617	7,962	123,120		401,699	547,800	949,499	837,048	112,451
1月	279,327	5,421	86,184	393,640	764,572	378,400	1,142,972	1,181,418	△ 38,446
2月	278,460	7,236	86,184		371,880	580,800	952,680	624,711	327,969
3月	253,788	6,874	86,184	366,800	713,646	607,200	1,320,846	769,161	551,685
合計	3,238,847	78,730	960,336	1,873,230	6,151,143	4,587,000	10,738,143	14,539,056	△ 3,800,913
R1 年度	4,075,853	562,183	816,480	2,933,620	8,388,136	6,150,920	14,539,056		
増減	△ 837,006	△ 483,453	143,856	△ 1,060,390	△ 2,236,993	△ 1,563,920	△ 3,800,913		

※新型コロナウイルス感染症予防対策のため4月～5月間浴室大広間の臨時休業、6月以降のミストサウナ停止、施設利用制限の影響のため水道光熱費、燃料費が大幅に減少した。

5 修繕等実施状況（契約価格 10 万円以上） （単位：円）

No.	項 目	金 額	内 容
1	駐車場標識等改修工事	891,000	第1・2駐車場等の案内標識を追加設置
2	ボイラー室制御盤改造（C・D浴槽自動制御用）工事	895,400	浴槽管理用制御装置の追加設置
3	2階研修室、調査及び空調機入替工事	660,000	2階研修室東側空調機不良のため交換修理
4	浴槽ろ過吸い込み口修繕	391,600	浴槽ろ過循環水量不足のため吸い込み口を追加
5	人工炭酸泉製造装置FC03(2号機)消耗部品交換	407,000	人工炭酸泉濃度低下のためエレメント等部品交換
6	貯水槽温水循環ポンプ更新	187,000	ポンプ劣化漏水のため更新
7	手前脱衣室洗面下床修繕	407,000	手前脱衣室床下漏水劣化腐食のため修繕
8	外部排水管改修工事	539,000	事務所西側排水管つまり改善のため改修

6 安全対策

(1) 福祉会館施設利用者の傷害補償

施設利用者を対象とした傷害保険に加入した。

1名あたりの補償内容

種 別	補償額	備 考
死亡・後遺障害保険金	500万円	施設利用者を対象とする。
入院保険金日額	4,000円	事故の日から180日を限度とする。
手術保険金	外 来 20,000円 入院中 40,000円	1事故に対して1回とする。
通院保険金日額	2,500円	事故の日から180日の間のうち、90日の通院を限度とする。

(2) 防災訓練の実施

区 分	実施日	参加者	内 容
危険物安全週間	6月29日(月)	14名	消火器・消火栓と避難誘導の確認。
救急訓練・通報訓練	7月6日(月) 13日(月)	16名 (シルバー管理人、 健康相談員)	夜間営業に合わせてAED講習、通報訓練を実施。

(3) 富士山南東消防本部立入検査

①危険物施設(消防法第16条の5)実施日:7月10日

改善を要する事項	特になし
----------	------

②消防対象物(消防法第4条)実施日:10月26日

改善を要する事項	特になし
----------	------

7 その他

(1) 浴室・大広間の営業時間の延長について(平成25年度から実施)

勤労者や家族、若年層等の利用促進を図るため、営業時間を延長した。

- ① 期 間 7月1日(水)から12月27日(日)  
6ヶ月間(月曜日を除く、但し月曜祝日は実施)
- ② 延長時間 17時00分から20時30分(3時間30分)
- ③ 利用結果 (単位:人)

月	営業日	利用者数	1日 平均利用者	昨年度 1日平均利用者	増減
7月	27	579	21	42	△21
8月	27	824	31	44	△13
9月	27	767	28	44	△16
10月	27	766	28	0	28
11月	26	715	28	0	28
12月	24	712	30	0	30
合 計	158	4,363	166	130	36

(単位:人)

時間帯	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
16:30~17:00	106	158	139	134	141	144	822
17:00~17:30	109	171	127	125	134	130	796
17:30~18:00	89	149	124	118	95	117	692
18:00~18:30	96	115	123	147	131	125	737
18:30~19:00	93	104	129	112	113	107	658
19:00~19:30	86	127	125	130	101	89	658
合 計	579	824	767	766	715	712	4,363

夜間売上内訳	大人券 500円	高齢者 障害者 300円	子供 100円	短時間 200円	合計
7月利用人数	2	66	13	498	579
7月売上	1,000	19,800	1,300	99,600	121,700
8月利用人数	0	145	17	662	824
8月売上	0	43,500	1,700	132,400	177,600
9月利用人数	2	116	20	629	767
9月売上	1,000	34,800	2,000	125,800	163,600
10月利用人数	4	140	23	599	766
10月売上	2,000	42,000	2,300	119,800	166,100
11月利用人数	2	115	21	577	715
11月売上	1,000	34,500	2,100	115,400	153,000
12月利用人数	1	102	11	598	712
12月売上	500	30,600	1,100	119,600	151,800
7月～12月利用合計	11	684	105	3,563	4,363
売上合計	5,500	205,200	10,500	712,600	933,800

(2) 施設の無料開放について

新型コロナ感染拡大防止のため実施していない。

(3) 高齢者援護活動の推進

① ふれあい推進事業の充実

今年度は新型コロナウイルス感染症予防のためカラオケなど一部事業を停止した。

事業内容	内 容
カラオケ・舞踊	中止
卓球	中止
囲碁、将棋、オセロ	用具の貸し出し（随時）

② シニア趣味サークルへの支援

シニア世代の健康の増進と交流による仲間づくりを促進するため、事務的支援を行った。（感染症予防のため利用制限有）

サークル名	活 動 日	時間	会 場
ダンスサークル	毎週土曜日	午後	1階遊戯室
将棋サークル	第1・3火曜日	午後	2階教養娯楽室1
囲碁サークル	第2・4火曜日	午後	2階研修室
表千家茶道サークル	第1・3木曜日	午前	2階教養娯楽室2
華道サークル（松風古流）	第1・3水曜日	午前	2階教養娯楽室2

③ 福社会館利用高齢者に対する送迎の実施【未実施】

従来、高齢者相互の交流と健康の維持・増進を図り、福社会館の利用を促進するため、町内の単位シニアクラブを対象としたマイクロバスによる送迎を行っているが、今年度は感染症予防対策のため浴室・大広間の利用を制限し、マイクロバスの利用を停止した。そのため自力で送迎可能なシニアクラブ会員が単位クラブ利用日に合わせて浴室・大広間を利用した。

(4) 福社会館屋上防水改修工事（施工：(有)永興塗装）

福社会館陸屋根防水シート劣化改善のため防水改修工事が実施された。  
（期間：令和2年10月15日～令和3年2月15日）

(5) 長泉・清水循環バス停留所設置

施設利用者及び施設近隣居住者の便宜を図るため長泉・清水循環バスの停留所が福社会館3階玄関前に設置された。  
（開始：令和2年10月1日～）

【事業の成果と課題】

高齢者福祉施設として地域諸団体と連携するとともに福祉関係団体等、特に高齢者団体にとって利用しやすい施設経営に努めた。  
施設の指定管理者として4期16年目を迎え、地域のシニア世代、その他の関係福祉団体等の意向を踏まえつつ、期待される施設機能を十分に活かした事業の企画立案・調整を図っていききたい。

しかしながら、今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策のため4月初から5月末まで休館し、6月1日以後も居住者制限、3密を避ける等11カ条の利用ルールを設け、問診票、手指消毒剤、扇風機の設置、机等の消毒、浴室利用を短時間のみとし、脱衣室ロッカーの利用数制限、カラオケの中止等の措置を行った上で運営した。そのため、当期において大幅に利用者、利用料収入等が減少した。

よって、今年度は大幅な収入減を見込んだなかで支出の削減に努め、収支の均衡を図った。

翌年度においても引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策を図りながら行政等と協議しながら運営していききたい。

### 3 介護サービス事業

#### 3-1 居宅介護支援事業

##### 1 事業概要

要介護、要支援、事業対象者と認定された利用者に心身の状況や希望、生活課題を考慮して居宅サービス計画を作成し、本人及び家族の支援を行う。

介護サービスが適切かつ効果的に提供されるよう医療と連携を図り、居宅サービス事業所等の連絡調整、並びに居宅サービスの給付管理を実施する。

##### 2 事業内容

###### (1) 各種申請に関すること

① 要介護・要支援認定（新規、更新、区分変更）、② 福祉サービス等の利用申請、③その他、必要な制度利用の申請

###### (2) ケアプランの作成に関すること

① 居宅サービス計画の作成及び計画後の管理、② 利用者状況の把握  
③ サービスの実施状況の把握、④ 関係機関との連絡調整

###### (3) 地域包括ケアシステムの実現とサービスの質の向上について

① 地域で支え合う仕組みづくりが推進されるよう各種会議や研修会へ出席  
② 事業所内での定例の会議や勉強会の開催

##### 3 利用状況

###### (1) 居宅サービス計画作成件数

月	居宅介護支援件数						介護予防支援・総合事業件数				月間合計
	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	要支援 1	要支援 2	総合 事業	計	
4月	32	22	18	12	6	90	14	27	7	48	138
5月	33	22	17	11	6	89	12	25	6	43	132
6月	32	22	19	12	5	90	12	25	8	45	135
7月	33	23	20	12	5	93	11	25	7	43	136
8月	34	22	20	11	5	92	12	26	7	45	137
9月	33	22	19	11	5	90	13	27	6	46	136
10月	28	28	19	12	6	93	13	25	6	44	137
11月	27	28	20	9	6	90	11	26	5	42	132
12月	27	27	18	9	6	87	10	28	4	42	129
1月	27	27	18	6	5	83	11	24	5	40	123
2月	26	26	19	4	5	80	9	25	4	38	118
3月	28	27	20	5	5	85	9	27	4	40	125
R2 合計	360	296	227	114	65	1,062	137	310	69	516	1,578
R1 合計	339	315	211	135	83	1,083	110	243	35	388	1,471
増減	21	△19	16	△21	△18	△21	27	67	162	128	107

## (2) 加算・減算の状況

	加 算						減 算	
	初回	退院 退所	入院	ターミナ ルケア	特事Ⅲ	特事Ⅱ	運営	集中
4月	1	0	1	0	0	90	0	0
5月	2	0	2	0	0	89	0	0
6月	2	0	0	0	0	0	0	0
7月	6	1	0	0	0	0	0	0
8月	1	0	0	0	0	0	0	0
9月	3	0	0	0	0	0	0	0
10月	4	0	1	0	0	0	0	0
11月	3	0	4	0	0	0	0	0
12月	1	0	2	0	0	0	0	0
1月	1	0	0	0	0	0	0	0
2月	4	0	0	0	0	0	0	0
3月	3	1	1	0	0	0	0	0
R2 合計	31	2	11	0	0	179	0	0
R1 合計	39	12	7	0	253	830	0	0
増 減	△8	△10	4	0	△253	△651	0	0

## 4 居宅介護支援実績

	介護実績	支援実績	新規受入れ	終了者
R2 合計	1, 0 6 2	5 1 6	2 3	1 6
R1 合計	1, 0 8 3	3 8 8	5 1	2 8
増 減	△ 2 1	1 2 8	△ 2 8	△ 1 2

## 5 研修・会議

- (1) 所内ケアマネ定例会議：毎週 1 回
- (2) 事例検討会：2 回（6/17、8/19）
- (3) わくわくケア～の会：4 回（6/17、8/19、12/16、3/10）
- (4) その他、業務遂行に必要な会議、研修

※新型コロナウイルス感染症対策にて、外部研修はオンライン研修もしくは延期となった。

## 6 監査及び行政機関調査の実施状況

## (1) 介護保険施設等の実地指導

ア 期 日 令和 3 年 3 月 18 日（木）

イ 実施結果 文書指導事項 7 事項 口頭指導事項 1 事項

ウ 改善報告書提出

## 【事業の成果と課題】

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用者宅訪問やサービス担当者会議の開催などについて積極的に実施できないこともあったが、電話や書面、メールなどのツールを活用し利用者や家族、関係機関と密な連絡を心掛けて支援を行ってきた。

また、初めての試みとして、利用者や家族、関係機関を対象に満足度アンケートを実施した。日頃の支援に対する感謝や労い言葉をいただけたが、業務改善の検討や、ケアマネジャーの資質の向上の必要性を再確認するような貴重なご意見をいただくことができた。これを基に事業所としての資質向上につなげ、地域に根差した事業所を目指していきたい。

## 3-2 指定通所介護事業

### 1 事業概要

利用者の心身の特性を踏まえて、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、また利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びにその家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るために必要な日常生活上の世話及び機能訓練等の介護、その他必要な支援を行う。

定員 通所介護、介護予防通所介護（合計）25人/日

### 2 職員の概要

R3.3.31 現在

職 種	常勤	非常勤	常勤換算
1 管理者	1	0	1
2 生活相談員	1	1	1.2
3 介護職員	2	4	2.7
4 看護職員	1	1	1.2
5 機能訓練指導員(兼務)	(1)	(1)	(1.2)

### 3 営業時間

営業日	月曜日～土曜日 12月29日から1月3日までを除く
営業時間	午前9時15分～午後4時25分まで (送迎時間は除く)

### 4 事業内容

- ① 生活指導、② 日常生活動作訓練、③ 介護サービス、④ 送迎サービス
- ⑤ 健康状態の確認、⑥ 給食サービス、⑦ 入浴サービス、⑧ 介護方法の指導
- ⑨ 個別機能訓練

### 5 監査及び行政機関調査の実施状況

なし

## 6 利用状況

### (1) 指定通所介護(通介)、介護予防通所介護(予通) (一体的に実施)

	開所日数	登録者数		利用延人数		主 な 行 事 等
		通介	予通	通介	予通	
4月	26	32	3	354	20	
5月	26	31	3	346	22	
6月	26	31	3	361	23	
7月	27	31	3	340	22	防災訓練
8月	26	30	3	346	20	
9月	26	29	3	348	23	敬朗会
10月	27	32	2	365	13	
11月	25	31	2	321	12	
12月	24	31	2	303	13	クリスマス会
1月	24	28	1	278	8	
2月	24	28	1	269	8	節分
3月	27	26	1	299	9	ひな祭り
R2 合計	308	360	27	3,930	193	
R1 合計	306	387	48	4,198	322	
増 減	2	△27	△21	△268	△129	



【敬朗会】



【クリスマス会】



【節分】

## 7 令和2年度の取り組み

- (1) 季節感のある居室等の装飾  
(新緑、花、海、干支・絵馬、節句、七夕、花火)
- (2) 園芸(花・野菜)
- (3) 敬朗会

## 8 内部研修状況

開催日	内 容	参加人数
5月19日	チームケア理念の意義と必要性	6名
6月19日	介護保険サービスについて チームケアにおける合意形成の手法	11名
7月28日	利用者の身体状況について	13名
8月24日	介護技術基礎講座	11名
9月28日	認知症サポーター養成講座	6名
3月24日	福祉車両・救護担架の正しい使い方講座	10名

### 研修の様子



## 9 ボランティアの協力、活動支援ボランティア受入状況

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、各種ボランティアの受け入れを休止している。

【活動支援ボランティア団体名】 11 団体

傾聴ボランティアふらっと、こどもの本とお話の会、大正琴倶楽部、長泉ボランティア、長泉町女性会、民児協地域福祉部会、沖縄三線かりゆし、マッサージ、ハンドマッサージボランティア、ホーム喫茶ボランティア、ハーモニカボランティア

## 10 福祉教育、介護実習の受け入れ状況

実習生の受け入れについては依頼先から実習中止の申し出があり、受け入れ実績はなし。

## 11 防災訓練の実施

### (1) 危険物安全週間における訓練

実施日：6月16日（火）13時30分から14時30分まで

参加者：職員9名、利用者一般型15名 認知症対応型5名

内 容：避難経路確認・救急訓練・通報訓練。

### (2) 地震防災訓練

実施日：9月25日（金）13時30分から14時30分まで

参加者：職員7名、利用者一般型16名 認知症対応型4名

内 容：火元責任者による安全確認。発災時の避難誘導手順の確認及び避難経路の確認、被災状況確認の徹底。



### 【事業の成果】

新規の利用者7名、利用終了者12名、全体での延べ利用者数は、前年比で介護268名減・支援129名減、コロナ禍での自粛された方1名となった。

昨年に引き続き質の高いケアを提供するために、研修に参加した職員が中心となり内部研修等を実施した。コロナ禍で活動制限があるため、体力・筋力維持が出来るよう利用者と共に声掛けをしながら生活リハビリを主とした健康体操等に力を入れた。

また、季節感のある居室づくりを目的とした活動に取り組み、他利用者との交流等、五感に働きかける豊かな環境作りに配慮した居室の装飾に取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症対策として、利用者・職員ともに、毎朝の検温・マスクの着用・同居親族等他県への往来の有無等について確認している。利用者の来所時及び飲食前の消毒徹底を図り、送迎車・居室内・廊下の消毒や換気をしている。

### 3-3 指定認知症対応型通所介護事業

#### 1 事業概要

市町村が事業者の指定及び監督を行う地域密着型サービスの指定を受けている。認知症高齢者への通所介護サービスおよび介護者への支援をもって、在宅生活の継続支援を行う。

定 員 認知症対応型通所介護、介護予防認知症対応型通所介護（合計）12人/日

#### 2 職員の概要

R3.3.31 現在

職 種	常勤	非常勤	常勤換算
1 管理者	1	0	0.8
2 生活相談員	1	1	1.2
3 介護職員	1	1	1.5
4 看護職員	0	3	1.2
5 機能訓練指導員(兼務)	(1)	(1)	(1.2)

#### 3 営業時間

営業日	月曜日～土曜日 12月29日から1月3日までを除く
営業時間	午前9時15分～午後4時25分まで (送迎時間は除く)

#### 4 事業内容

- ① 生活指導、② 日常生活動作訓練、③ 介護サービス、④ 送迎サービス
- ⑤ 健康状態の確認、⑥ 給食サービス、⑦ 入浴サービス、⑧ 介護方法の指導
- ⑨ 個別機能訓練

#### 5 運営推進会議実施状況

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、保険者に1月と3月に利用状況等書面報告した。

## 6 利用状況

	開所日数	登録者数	利用延人数	主な行事等
4月	26	14	141	
5月	26	14	133	
6月	26	14	135	
7月	27	14	121	
8月	26	13	118	
9月	26	13	130	敬朗会
10月	27	12	138	
11月	25	13	157	
12月	24	14	149	クリスマス会
1月	24	14	143	
2月	24	13	152	節分
3月	27	13	167	
R2 合計	308	161	1,684	
R1 合計	306	185	1,809	
増減	2	△24	△125	

※指定介護予防認知症対応型通所介護は利用実績なし

## 7 令和2年度の取り組み

- (1) 季節感のある居室装飾（桜、新緑、あじさい、こいのぼり、海、祭り）
- (2) 裁縫（雑巾、袋作り・小物入れ）

## 8 内部研修状況、ボランティアの協力、福祉教育、介護実習受け入れ状況、防災訓練の実施内容に関しては、指定通所介護事業に記載の通り。

### 【事業の成果】

新規利用者5名、利用終了者6名、全体での延べ利用者数は前年比で125名の減となっている。

職員研修については、内部研修で認知症の正しい理解を深め、共通認識とした。そのため、利用拒否のある利用者を定着した利用に繋げる等、利用者にとって安心できる支援・対応に繋がった。また、利用者に寄り添うことで、利用者自身の活動も個々にあったレクリエーションや手段的日常生活動作を通じて役割づくりや達成感に繋げ安心した居場所となるよう努めた。

新型コロナウイルス感染症対策として、指定通所介護事業と同様の対策をしているが、居室環境においては、利用人数が少数のため対面にならない工夫をしている。

### 3-4 指定訪問介護事業

#### 1 事業概要

要介護、要支援、事業対象者等の介護状態の軽減若しくは悪化の防止又は要介護状態となることの予防に資することを目的として心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ住み慣れた自宅で、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護、その他の生活全般にわたる援助を行う。

#### 2 事業内容

##### (1) 身体介護に関すること

- ① 入浴の介助、② 排泄の介助、③ 食事の介助、④ 衣類着脱の介助
- ⑤ 清拭、⑥ その他必要な身体介護

##### (2) 生活援助に関すること

- ① 調理、② 衣類の洗濯、補修、③ 住居等の掃除、整理整頓
- ④ 生活必需品の買物、⑤ 関係機関との連絡、⑥ その他必要な家事

##### (3) 混合型（①身体介護、②生活援助）

#### 3 利用状況

利用者数・派遣延べ時間

(単位：人・時間)

	訪問介護					総合事業		総合計	
	利用者数 (人)	身体 (時間)	混合 (時間)	生活 (時間)	計 (時間)	利用者 数 (人)	派遣時間(時 間)	総利用者数 (人)	総派遣時間 (時間)
4月	20	93.0	208.5	22.0	323.5	17	97.0	37	420.5
5月	20	85.0	206.0	19.0	310.0	15	91.0	35	401.0
6月	20	93.5	209.0	18.5	321.0	16	97.0	36	418.0
7月	20	98.0	211.0	15.0	324.0	17	104.0	37	428.0
8月	17	58.0	183.5	7.5	249.0	18	144.0	35	393.0
9月	22	82.0	202.0	31.5	315.5	17	108.0	39	423.5
10月	21	104.0	181.0	29.0	314.0	17	108.0	38	422.0
11月	22	85.0	138.5	41.0	264.5	18	111.0	40	375.5
12月	21	93.0	131.0	32.0	256.0	18	103.0	39	359.0
1月	20	92.5	142.0	35.5	270.0	20	119.0	40	389.0
2月	21	91.5	165.0	35.5	292.0	18	106.0	39	398.0
3月	24	110.0	218.0	56.5	384.5	16	98.0	40	482.5
R2 合計	248	1,085.5	2,195.5	343.0	3,624.0	207	1,286.0	455	4,910.0
R1 合計	217	1,216.5	2,394.0	104.0	3,714.5	191	1,070.0	408	4,784.5
増減	31	△131	△198.5	239	△90.5	16	216	47	125.5

#### 4 ヘルパー内部研修状況

開催日	内容	参加人数
4月13日	新規利用者情報・支援変更・モニタリング報告・新型コロナウイルスについて（ライン研修）	16名
5月16日	支援変更・モニタリング報告・新型コロナウイルス感染症対策について（ライン研修）	15名
6月20日	新規利用者情報・支援変更・モニタリング報告・新型コロナウイルス最新情報について	14名
7月11日	利用者情報・モニタリング報告・新型コロナ感染症のフローチャートについて	14名
8月8日	利用者情報・モニタリング報告。プライバシー保護の取扱いマニュアル・訪問介護専門職について	12名
9月12日	利用者情報・モニタリング報告・高齢者日常生活自立度・認知症高齢者日常生活自立度について	10名
10月10日	新規利用者情報・支援変更・利用者情報・モニタリング報告・認知症高齢者のケアについて	12名
11月14日	支援変更・利用者情報・モニタリング報告・災害マニュアル見直しについて	14名
12月19日	感染症・クラスター対策FAQ視聴研修/ゾーニング施行訓練/新規・利用者情報・モニタリング報告	13名
1月16日	新規・利用者情報・モニタリング報告・訪問介護計画書・個別援助計画書の記載方法・事例検討会	12名
2月13日	新規・利用者情報・モニタリング報告・新型コロナ最新情報・接遇マナーDVD視聴	11名
3月13日	利用者情報・モニタリング報告・令和3年介護保険改正の要点・新型コロナワクチン接種について	14名

#### 5 その他

静岡県ホームヘルパー連絡協議会の役員を努め、駿東圏域の医療、福祉、介護の団体等で構成する地域包括ケア推進ネットワークメンバーとして活動した。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、多くの研修が中止になり、リモート会議や当該事業所のヘルパー研修も4月、5月は三密を避けるためライン上で研修を行った。

#### 【事業の成果】

身体介護中心の利用者が入院、入所のため支援終了となり身体介護、混合が減少した。新規を受け入れ利用者は増となったが、生活援助中心の利用者が多かったため、生活援助が増大した。総合事業についても、新規依頼を積極的に受け入れ、利用者数・派遣時間共に増となった。

毎月行う、ヘルパー研修では新型コロナウイルスの最新情報やゾーニング施行訓練を行い、ウイルスについての正しい知識を学習し感染予防に努めた。

訪問介護員は毎朝の検温とマスクの着用、うがい、手洗い、アルコール消毒を徹底し、不要不急の外出の自粛を行った。また、利用者への健康にも配慮し訪問時には必ず体調確認を行い、非接触型の体温計で検温し異常の早期発見に努めた。

### 3-5 障害福祉サービス 居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業

#### 1 事業概要

身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ住み慣れた自宅において、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護、その他の生活全般にわたる必要な援助を行う。

#### 2 事業内容

##### (1) 身体介護に関すること

- ① 入浴の介護、② 排泄の介護、③ 食事の介護、④ 衣類着脱の介護、⑤ 身体の清拭  
⑥ 外出時の介助、⑦ その他必要な身体介護

##### (2) 家事援助に関すること

- ① 調理、② 衣類の洗濯や補修、③ 住居等の掃除や整理整頓、④ 生活必需品の買い物  
⑤ 関係機関との連絡、⑥ その他必要な家事

##### (3) 相談及び助言に関すること

- ① 生活、身上、介護に関する相談助言、② その他必要な相談助言

#### 3 利用状況

(単位：人・時間)

	身体障害者				知的障害者				精神障害者				合計		
	利用者数	派遣回数	派遣時間		利用者数	派遣回数	派遣時間		利用者数	派遣回数	派遣時間		利用者数	派遣回数	派遣時間
			身体	家事			身体	家事			身体	家事			
4月	15	259	248.0	48.0	7	25	7.0	19.5	7	35	10.5	38.0	29	319	371.0
5月	15	258	258.5	50.5	7	37	13.5	22.0	7	34	10.5	37.5	29	329	392.5
6月	16	280	278.0	53.0	7	27	7.5	21.0	9	35	10.0	39.5	32	342	409.0
7月	17	281	302.5	53.5	6	42	9.0	34.0	9	37	11.5	40.5	32	360	451.0
8月	16	267	304.5	49.0	6	48	13.0	35.0	9	45	10.5	40.0	31	360	452.0
9月	17	282	310.5	55.0	6	44	10.5	36.5	9	40	10.5	44.0	32	366	467.0
10月	17	263	281.5	53.5	6	46	9.0	38.5	8	40	11.5	41.0	31	349	435.0
11月	16	253	275.0	46.0	6	45	6.5	40.0	8	40	10.0	37.0	30	338	414.5
12月	16	283	309.5	47.5	6	42	3.5	40.5	9	42	10.0	38.5	31	367	449.5
1月	16	271	268.0	42.5	5	38	3.0	35.0	8	42	10.0	38.5	29	351	397.0
2月	16	257	258.0	41.0	5	37	3.0	35.5	8	37	10.0	32.5	29	331	380.0
3月	16	311	319.0	44.5	6	45	3.0	40.0	9	42	11.5	37.5	31	398	455.5
R2 合計	193	3,265	3,413.0	584.0	73	476	88.5	397.5	100	469	126.5	464.5	366	4,210	5,074.0
R1 合計	201	2,975	3,369.5	584.0	91	248	74.5	190.5	94	374	103.0	423.0	386	3,597	4,744.5
増減	△8	290	43.5	0	△18	228	14	207	6	95	23.5	41.5	△20	613	329.5

#### 【事業の成果】

町内の障害サービス事業所がないため、依頼を受けるよう努力した。派遣回数と派遣時間の増となった理由については、介護する親の高齢化や身体状況の悪化が原因となっている。また、グループホームに入所した利用者がいたため、利用者数は減となった。利用者の状況変化に対応した支援ができた。

### 3-6 移動支援事業

#### 1 事業概要

屋外での移動が困難な身体障害者、知的障害者、精神障害者、発達障害者の外出支援を行い、地域における自立生活および社会参加を促すことを目的として、社会生活上必要不可欠な外出や余暇活動などへの参加のための移動を支援する。ただし、通勤通学等常時利用する場合は対象外となる。

#### 2 事業内容

##### (1) 移動介助に関すること

① 通院等の介助、② 社会参加等の移動支援

##### (2) 相談及び助言に関すること

① 生活、身上、介護に関する相談助言、② その他必要な相談助言

#### 3 利用状況

	利用者数（人）	派遣回数（回）	派遣時間（時間）
4月	5	14	32.5
5月	4	14	35.0
6月	4	10	27.0
7月	4	8	24.0
8月	3	5	14.0
9月	7	10	27.0
10月	5	11	18.0
11月	6	13	29.5
12月	5	9	18.5
1月	6	9	18.5
2月	3	8	13.0
3月	7	12	27.5
R2 合計	59	123	284.5
R1 合計	77	122	319.5
増 減	△18	1	△35

#### 4 その他

長泉町障がい者自立支援協議会事業所部会に参加した。

#### 【事業の成果】

利用者が施設入所となり派遣時間の減となったが、児童から高齢者までの幅広い利用者に対して、個々のニーズに合った支援を提供した。

### 3-7 地域活動支援センター事業（長泉町受託事業）

#### 1 事業概要

障がい者の創作的活動、機能訓練等のサービスを通所事業として提供することにより、自立促進、生活改善、身体機能の維持向上等を図り、自立と社会参加を促進することを目的としている。

利用者が自らの動機づけを失わないようなケアを実施し、手段的日常生活動作（外出、買物、食事の支度など）の促進を図る。特に同様の障がいをもつ方との情報交換や意見交換、歩行や軽スポーツによる体力向上、地域社会との交流を通して、精神的な安定や気力を保ちながら明確な目標をもてるよう、障害福祉サービスの利用や多様な地域交流への参加について実践する。

#### 2 事業内容

- ① 創作的活動事業（趣味・余暇活動）、② 社会適応訓練（外出訓練）  
③ 機能訓練、④ 給食サービス、⑤ 入浴サービス、⑥ 送迎サービス

#### 3 利用状況

月	開所日数	登録者数	利用延人数	主な行事等
4月	20	14	59	春の習字
5月	18	14	53	アイロンビーズ
6月	22	14	51	七夕の飾り作り・避難訓練参加
7月	21	13	54	短冊願いごと作り、夏の習字
8月	18	12	58	花火の壁画作り
9月	20	12	67	秋の習字
10月	22	12	65	ハロウィン
11月	18	11	50	障がい者週間展示用習字
12月	19	11	53	障がい者週間展示品見学外出
1月	17	11	39	書初め
2月	18	10	45	節分鬼の面作り、習字
3月	21	10	48	ひなぎくの壁画作り
R2 合計	234	144	642	前年比 79.9%
R1 合計	240	198	836	
増減	△6	△54	△194	

#### 4 活動報告

- (1) 外出訓練：障害者週間展示品見学（役場）
- (2) 趣味活動：書道、パズル、オセロ
- (3) 創作活動：各月のクラフト、壁装飾作品
- (4) 運動療法的活動：歩行訓練、健康体操、リハビリ室内トレーニング
- (5) 作業療法的活動：脳トレ、アイロンビーズ、スキルビーズ、塗り絵

#### 【事業の成果と課題】

今期は、新型コロナウイルス感染症の影響による明確な利用者数の減少はないが、利用者3名がグループホームへ入居し、町外転居となったこと、1名が施設入所したことにより、登録者数は当初から4名減となった。

利用者の不安に寄り添った支援ができるように対話の機会を増やし、必要に応じて別室で話をするなど利用者の心情に即した工夫を行った。また、グループホームや介護保険サービス利用など、次のステップにスムーズに移行できるように、施設見学へ同行した。

日中活動として、興味を示す活動が個々人で異なることから、塗り絵、工作、ビーズ等選択できるようにした。また、完成した作品を通路に展示するようにした。利用者がお互いの活動や作品に関心を持ち、会話できる機会が増える効果があった。

期間後半に行った利用満足度調査では、施設環境、職員の対応などの設問に対し、ほぼ満足しているとの回答があった。利用者から要望があった、道路側窓の遮光カーテン取り付け、100ピースパズルの購入、照明器具の取替を行った。

新型コロナウイルス感染症対策として、非接触型検温消毒器及び空気清浄機の導入、掃き出し窓の網戸の設置を行った。今後も利用者及び職員の検温、手洗い、手指消毒、居室及び送迎車の換気等、基本的な感染症対策を徹底して実施していく。

## II 公益事業

### 1 在宅福祉総合センター

#### 1-1 在宅福祉総合センター事業（長泉町指定管理事業）

##### 1 事業目的

在宅福祉総合センターいずみの郷は、在宅で援護を必要とする高齢者や障がい者に、総合的なサービスを提供する設備を整備し、既存の福祉会館と連携し、町の福祉の拠点として設置された。当会は、町の指定管理者として、施設利用による住民相互の交流を図るため、集会室、研修室を月曜日から土曜日まで開館し、各種団体の会議や研修会等に施設を提供した。

##### 2 管理業務の状況

###### (1) 総合清掃管理業務

###### ① 日常清掃（土・日・祭日及び年末年始を除く毎日）

床面清掃・吸殻処理・紙くず処理・什器備品の除塵・トイレ清掃・給湯室・扉・浴室床面・浴槽・駐車場、外周・タイル、カーペット・施設内設備等

###### ② 定期清掃（年1回～6回）

長尺塩ビシート、リリウム床シート、ビニール床タイル・フローリング・窓ガラス（年6回）  
タイル、カーペット、厨房内清掃（年2回）

床面剥離洗浄清掃、アルミカーテンウォール清掃（年1回）

###### (2) 総合設備管理業務

###### ① 施設巡回保守点検業務

###### ② 空調設備保守点検業務

###### ③ 給水設備保守点検業務

###### ④ 排水設備保守点検業務

###### ⑤ 消防設備保守点検業務

###### ⑥ 昇降機設備保守点検業務

###### ⑦ 自動扉設備保守点検業務

###### (3) 衛生管理業務

###### ① 室内空気環境測定業務

###### ② 害虫等防除業務

###### ③ 貯水槽清掃及び水質検査業務

###### ④ 湯水（レジオネラ菌）検査

###### (4) 夜間機械警備業務（毎日）

###### (5) 電気保安業務（月1回）

### 3 施設利用状況

#### (1) 会議室等件数・利用率及び利用料収入

月	集会室		研修室		貸館利用料 収入 (単位：円)
	件数 (単位：件)		件数 (単位：件)		
	有料	無料	有料	無料	
4月	0	1	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	1	6	0	0	2,000
7月	1	3	0	1	2,000
8月	2	4	0	2	4,000
9月	3	12	0	8	6,000
10月	1	10	0	4	2,000
11月	2	12	0	4	4,000
12月	3	15	0	3	6,000
1月	6	7	0	3	12,000
2月	5	11	0	1	10,000
3月	7	13	0	6	14,000
R2 期間計	31	94	0	32	62,000
R1 期間計	149	142	19	79	268,800
増 減	△118	△48	△19	△47	△206,800

\* 夜間貸出なし

## (2) 長泉町在宅福祉総合センター利用者数

(単位:人)

月	開所 日数	集会室			研修室			合 計
		有 料	無 料	小 計	有 料	無 料	小 計	
4月	26	0	19	19	0	0	0	19
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	26	52	149	201	0	0	0	201
7月	27	58	115	173	0	8	8	181
8月	26	70	135	205	0	13	13	218
9月	26	67	231	298	0	26	26	324
10月	27	11	281	292	0	22	22	314
11月	25	23	315	338	0	38	38	376
12月	23	90	309	399	0	17	17	416
1月	24	83	98	181	0	42	42	223
2月	24	82	254	336	0	10	10	346
3月	26	125	289	414	0	65	65	479
R2 期間計	280	661	2,195	2,856	0	241	241	3,097
R1 期間計	307	2,661	4,595	7,256	252	1,015	1,267	8,523
増 減	△27	△2,000	△2,400	△4,400	△252	△774	△1,026	△5,426

\* 5月閉館

## ※利用定員について

「大声での歓声・声援、及び合唱、体操等を目的とする利用」については収容定員数の1/2、その他の利用は収容定員数の2/3まで可能

会議室等	収容定員数の1/2	収容定員数の2/3	利用時間
集会室	60人	80人	9:00~12:00
研修室	15人	20人	13:00~16:00

令和2年11月10日(火)から継続中

#### 4 水道光熱及び燃料使用量

月	水道光熱使用量			燃料使用量	水道光熱費 (単位：円)	燃料費 (単位：円)
	電 気 (単位：kwh)	都市ガス (単位：m <sup>3</sup> )	上下水道 (単位：m <sup>3</sup> )	白灯油 (単位：L)		
4月	18,237	1,982		2,000	572,511	184,800
5月	17,110	1,820	2,066	2,000	799,697	165,000
6月	18,832	1,624		2,000	552,148	190,300
7月	19,842	1,476	2,790	2,000	902,900	192,500
8月	23,603	1,754		6,000	647,301	595,100
9月	25,375	1,316	3,758	4,000	1,076,998	398,200
10月	19,430	1,806		4,000	537,351	385,000
11月	19,000	1,686	2,274	0	896,264	0
12月	21,099	1,806		2,000	498,693	190,300
1月	21,474	1,669	1,850	4,000	695,455	380,600
2月	23,213	1,878		4,000	501,186	380,600
3月	20,307	1,848	1,756	4,000	699,439	382,800
R2期間計	247,522	20,665	14,494	36,000	8,379,943	3,445,200
R1期間計	243,356	8,268	17,318	49,500	7,881,631	5,222,070

○水道光熱費・燃料費については、各サービス区分にて面積按分を行っている。

## 5 安全対策

### (1) 在宅福祉総合センター入場者傷害保険

施設利用者を対象とした傷害保険に加入した。

1名あたりの担保内容、年間保険料

種 別	補償額	備 考
死亡・後遺障害	500万円	施設利用者を対象とする。
入院日額	4,000円	事故の日から180日を限度とする。
手術	外 来20,000円 入院中40,000円	1事故に対して1回とする。
通院日額	2,500円	事故の日から180日の間のうち、90日の通院を限度とする。

### (2) 防災訓練の実施

#### ① 危険物安全週間における訓練

実施日：6月16日（火）13時30分から14時30分まで

参加者：職員15名、利用者20名

内 容：避難経路確認・救急訓練・通報訓練、館内消火器、消火栓配置確認。

#### ② 地震防災訓練

実施日：9月25日（金）13時30分から14時30分まで

参加者：職員11名、利用者9名

内 容：地震想定（平日勤務中、突発的に地震発生）説明後、火元責任者による安全確認。発災時の避難誘導手順の確認及び避難経路の確認、被災状況確認の徹底。災害時備蓄品確認。

### (3) 危険物施設立入検査

実施日：7月15日（水）

対象物：地下タンク埋蔵所

改善事項：地下タンク貯蔵所において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者は、保安の講習を受けること。（法第13条の23）

免状の写真の書換をすること。（危険物の規制に関する政令第34条）

改善日：8月12日（水）

## 6 修繕等実施状況（10万円以上）

（単位：円）

項 目	金 額	内 容
集会室・研修室 LAN 配線工事	218,900	インターネット接続用配線取付

## 【事業の成果と課題】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、5月1日～31日まで閉館した（デイサービスは継続）。6月1日より利用制限を設け、入館時のカード記入（検温含）、手指消毒剤の設置、各部屋への扇風機の設置、備品の消毒等を行った。利用制限は段階的に緩和しているが、自粛傾向にあり利用件数は集会室、研修室共に前年同期比で減少となった。情報を精査し、「安心・安全の確保」を第一とし利用状況の回復に努め、サービスの向上に取り組んでいく。

管理に係る費用としては、猛暑や空調設備の故障の影響により水道光熱費及び燃料費の増加傾向がみられたが、昨年度の燃料切替工事の効果により全体としては経費節減に繋がった。

今年度は総合防災訓練が行われなかったが、いずみの郷は東海地震警戒宣言発令時等福祉避難所としての役割を示されている。（平成26年協定）  
今後はコロナ禍における避難所開設において、受入人数や備品の見直し等の課題がある。

## 1-2 在宅福祉総合センター食堂事業

### 1 事業目的

在宅福祉総合センター食堂事業は、一般食堂及びデイサービスの給食を提供している。また、地域福祉活動におけるボランティアの活動拠点としての役割があり、ひとり暮らし高齢者食事会「仲良会」の食事づくりや地域住民の憩いの場としての役割も果たしている。

### 2 一般食堂食数内訳及び売上金収入

月	定食	カレー・ 麺類他	惣菜	仲良会	調理員 昼食	相談員 検食	給食 ボランティア	その他	合計 (単位:食)	売上金 (単位:円)	サービス 利用者 延人数 (単位:枚)
4月	0	0	0	0	26	26	4	0	56	27,490	
5月	0	0	0	0	22	26	0	4	52	25,830	
6月	107	0	0	0	26	26	0	1	161	79,290	
7月	109	0	356	0	26	27	0	2	520	117,188	
8月	126	3	255	0	22	26	0	0	432	113,554	
9月	136	3	371	0	25	26	0	0	562	131,137	
10月	137	5	388	0	26	27	0	0	585	135,382	
11月	129	2	268	0	24	25	0	0	450	116,019	
12月	102	1	199	0	23	24	0	1	350	94,822	
1月	103	1	222	0	23	24	0	2	375	98,248	
2月	89	1	280	0	22	24	0	0	416	95,445	
3月	106	0	273	0	25	27	0	3	434	107,684	
R2 期間計	1,144	16	2,612	0	290	308	4	13	4,393	1,142,089	0
R1 期間計	2,365	105	7,028	777	287	305	527	0	11,394	3,177,307	15
増減	△1,221	△89	△4,416	△777	3	3	△523	13	△7,001	△2,035,218	△15

### ※営業状況

いずみの郷レストラン	
営業日	月曜日～土曜日
営業時間	11:00～13:00 (ラストオーダー12:30)
席数	10席 (従来22席)

### 3 デイサービス給食売上食数内訳及び売上金収入

月	通所介護 事業 (単位：食)	認知症対応型 通所介護事業 (単位：食)	地域活動 支援センター (単位：食)	合 計 (単位：食)	売上金 (単位：円)
4月	374	141	51	566	367,900
5月	368	133	53	554	360,100
6月	383	135	49	567	368,550
7月	361	123	50	534	347,100
8月	382	116	57	555	360,750
9月	347	130	67	544	353,600
10月	399	138	63	600	390,000
11月	333	157	50	540	351,000
12月	316	148	51	515	334,750
1月	286	143	39	468	304,200
2月	279	152	43	474	308,100
3月	315	167	47	529	343,850
R2 期間計	4,143	1,683	620	6,446	4,189,900
R1 期間計	4,496	1,804	805	7,105	4,618,250
増 減	△353	△121	△185	△659	△428,350

### 4 給食ボランティア参加状況

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、各種ボランティアの受け入れを休止している。

### 5 給食ボランティア登録者数

年 度	団体登録者数	個人登録者数	合 計
R2	18	20	38
R1	19	17	36

給食ボランティア団体名

みちの会・木苺の会・愛護の会・なでしこの会・ホーム喫茶ボランティア

### 6 実習生受け入れ

受入期間	実習依頼団体	内 容	人 数
8月24日～28日	日本大学短期大学部	食物学科実習	4
9月7日～11日	日本大学短期大学部	食物学科実習	3
11月9日～13日	小田原短期大学	食物栄養学科実習	2

### 【事業の成果と課題】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、4、5月は一般食堂及び総菜販売を休業した。6月から一般食堂、7月から総菜販売を再開したものの、来館者の減少等により売上は昨年度に比べて3分の1に減少した。

感染症対策として、食堂は席数を10席に減数し対面にならない配置をとり、換気対策を講じて営業した。総菜販売は、誘導路を作り販売時に客が集中することを防止した。また、厨房内が密になることを避け、デイサービス等利用者に配慮し、給食ボランティアの受入れを中止した。但し、大学生の資格取得に必要な実習のみ人数を分散し、受入れを行った。

食堂の休業や給食の調理数が減になったことに伴い、調理員の実働数を減すことで人件費を抑え、給食材料費を見直し、支出の削減に努めた。しかしながら、仲良会等行事の中止などボランティアの活動の機会がなくなり今までの繋がりが希薄になることが懸念される。食堂利用者の増加やボランティアの活動の機会の確保、厨房設備の老朽化による入替など検討課題が多くある。

